Memorandom 5

(KDD 本社)

1979 年 1 月 4 日～1980 年 3 月 31 日

1979 年（昭和 54 年）

1 月

4 日
(木)
・仕事始め.

5 日
(金)
・郵政省電監室.（米沢，飯島参事官)に，NTT 本社(技術局，施設局)，NTT 海底線施設事ム所(関根所長)に新年の挨拶廻り.
・研究所 計測研 岩本，白崎 両君の，埋設機等に関する米国での調査の報告会に出席.(15:00～17:15).

6 日
(土)
・海底線部若手グループとの新年会.

8 日
(月)
・TPC-3 に関する ATT との技術会議に備え，検討を進めるため，杉本，石井　両君と協議.
・苓北海底線中継所における事業知識講座のテキスト作成.

9 日
(火)
・役員会に，アラブ湾岸ケーブルのコンサルティング入札書提出について報告.
・奈須，寺本両教授および 海上保安庁 庄司水路部長に対する志村常務招宴に出席.

10 日(水)～13 日(土)
・53 年度事業知識講座の講演のため，苓北中継所に出張.
・加瀬業務課長補佐を同行.

16 日
(火)
・昨年 8 月，NEC 海外エンジニアリング 研修訓練部長 樋口(重孝)氏より依頼のあった.訓練講師について，玉置 KEC 常務理事，及び 石川保全部長より，大手町施設局の小田一隆氏のすいせんがあり，社長室林総務課長とも協議し，NEC 海外エンジニアリングに話してみることとする.
・志村常務より，日韓ケーブルに使用する CS-36MDR 方式について，NTT が疑義をもっているやの風聞があるとのことで，富士通 関川部長に NTT への了解とり付けの状況をきき，問題のないことを確かめ，また海底線部での NTT 技術局等への説明情況にも問題なき点を確かめ，志村常務，大島副社長に報告.
・NTT 在職中に出願した 局間中継方式の特許の使用状況について，NTT より照会あり，総企室技術課長より調査の結果，No.6 信号方式には特許請求範囲が限定されているため，該当しないとの報告あり.
・研究所 中井 有シ研究室長の来訪を求め，KEC 図書原稿に対するコメントを渡す.

17 日
(水)
・前記，CS-36MDR 方式に関する問題について，NTT との事ム接衝の窓口である営業 1 課矢島課長に NTT 側の状況を尋ねるも，事ム接衝の場で，日韓ケーブルに関する話がでたことはなく，疑義等がそこで出されたことはないとのこと，以上を大島副社長に報告.
・NASC の各課長と，沖ー台ケーブルを進める上での諸懸案事項について，打合せ，その進渉状況をきく.（15:00～16:00)
・大手施 白井局長に，小田副参事に，NEC 海外エンジニアリングに行くことについて，意向をきいてもらう．こととする.
・OCC 廻 常務，斉脇部長　と懇談.

18 日
(木)
・NTT との海底同軸ケーブル方式合同委員会方式分科会(第 29 回)に出席の為，横須賀通研へ出張.
・沖ー台ケーブル技術会議(第 5 回)に出席のため，訪日した Messrs. Yang, Yeh, Kao の 3 名を迎え，会食(東京大飯店).

19日　・沖ー台ケーブル技術会議(1/22～1/25)の準備打合せ.
(金)　技術課長，施設課長，NASC施設課長.
・TPCケーブルに関するATTとの技術会合に備え，その対応策を関係者間で討議(杉本，江幡，湯口).
・OLUHO TSCへの対応，その前段のexpert meetingに対する考え等について，江幡調査役と協議．今後の社内での検討方法を討議する.
・白井大手施局長よりTel．小田副参事官は，NEC海外エンジニアリングで働く気はないとのこと.

20日　・KEC 図書 国際海底ケーブル通信の原稿(第4編)の査読.
(土)　・志村常務(1/17～1/19浜田出張)に報告.
・NK 海底同軸ケーブル方式分科会(1/18)の模様.
・CS-36MDR方式に関する問題の調査状況.

22日　・沖縄ー台湾ケーブル・技術会議(第5回) 開催．1月26日まで.
(日)　・ITDC/CGRAより，楊(Y.Y. Yang)，葉(Yeh)，高(Kao)　3氏，出席.
・日韓ケーブルに用地問題について，阿部 建設部次長より 現地調査報告．(志村常ム，海建本部，部 次長).
国土の南側にも市有地あり，候補 に加えて検討する.
・夜，NASC社長によるITDC/CGRA代表の招宴.

23日(火)～24日(水)
・沖ー台ケーブル技術会議(第5回)

25日　・ITDC/CGRA代表　横浜へKDD丸見学に行き，会議なし.
(木)　・沖ー台ケーブル 技術会議の ミニッツ案 検討.
ITDC/CGRA/DGTのOfficialsに関するNASCの招待について，NASC業務課長らと協議し，ミニッツへその意を入れることとする.
・夜，ITDC/CGRA代表に対する志村常務招宴.

26日　・午前，沖ー台ケーブル技術会議のミニッツ確認：会議終了.
(金)　・NEC海外エンジニアリング研修訓練部長 樋口氏にTell.
大手町施設局白井局長に．同局小田副参事がNEC海外エンジニアリングに行く意向があるか問い合わせてもらったところ，本人は，身体と海外研修生の訓練とに自信がないとのこととの回答あり，従って，この話は見送りとなる旨 樋口氏に伝える.

27日　・出社．資料整理.
(土)　・ITDC，　Mr. Yangほかを羽田空港に見送り.

29日　・新TPCの技術会議に対する準備・対応の打合せ．(14:15～15:30).
(月)　志村常務，海建本部 関係者，出席.
・同会議についてのATT Mr. Tuttleからの会期・議題等の提案TLXに対する回答案を作成し，会議出席と併せて事案決定処理を進める.
・KCS 広島専務の招宴.
・志村常務，NASC 増田社長に 沖ー台ケーブル会議の結果を報告.

30日　・海底線部，部内打合せ．(10：30～11：45).
(火)　・各プロジェクトの状況と，問題の処理.
・アルミケーブル.
・労組への沖台工事説明．(工事計画，勤ム体制，KDD丸への乗船条件)2月10日まで(工

事実施1ヶ月前まで)に行なう必要あり.
・ATTとのTPC-3関係技術会合の参加・出席についての事案決定文書の作成.
・常務招宴(担当部門, 副参事以上).

31日 (水)
・各案件の処理を進める.
1. 沖ー台技術会議報告(NASC).
2. ATTとの技術会合の準備. (スケジュール, 資料準備等)
3. OLUケーブルexpert meeting, TSC meetingのスケジュール.
4. 日韓ケーブル用機材調達契約のための, 諸会合.
・GNTCよりの招宴(ストックホルム)

2月

1日 (木)
・志村常務より.
郵政省電監室安田参事官よりTel. にて, インドネシアーシンガポールケーブル計画についてNECよりNTT黒潮丸を使用したいとの話しがあったが, KDD丸が使用できぬ理由についてKDDより説明をききたい旨, 話があったので, 説明に行けとのこと.
なお, これに関し, KCS 広島専務, 小林部長, 建設部長を招集し, 今後, 東西マレーシア等の対外関係に関するKDD側窓口は, 海底線建設本部は海底線部長とする旨を, 常務より各氏に伝える.
・新技術開進委. (13:30〜17:30).
・石井君シンガポール駐在事務所長へ栄転の歓送会. (熊野会館).

2日 (金)
・KDD丸の東南アジア方面のケーブル計画への使用についてMPTへ説明する件に関連してNEC田畑氏に, 東西マレーシア・インドネシア・シンガポール両ケーブル計画の詳細についてきく.
・NY事務所 中尾所長と国際電話にて, 3月6日〜8日のATTとの技術会合にNY事ム所よりの出席を依頼, 遠藤調査役を出席させるとの回答を得.
また, Record Carrier(WUI, ITT, RCA)へのあいさつは, 時間があればした方がよいとのsuggestionを得る.
・新TPCに関するATTとの技術会合に備えるため, 準備すべき資料について打合せ(13:45〜15:30). 志村常務, 以下, 海建本部 関係者 出席.
・KDD丸のother workへの使用について, 基本原則に対する考え方の社内コンセンサスを得るため, 関係部門間の打合会合を主宰. (15:30〜17:00)
保全部, 国際部, KCS, 建設部.
・NTT 山口理事の就任祝. (志村常務招宴, 般若苑).

3日 (土)
・出社.
・関 管理部長よりTel, 浜田における日韓ケーブル用陸揚地の取得について, 地権者とKDD, 浜田市との話し合いがついたとのこと.
・京極君より.
英国の電気通信学会(IEE)より, 海底ケーブル技術に関する国際学会の開催と論文投稿の呼びかけのレター(社長あて)がきているとの話しあり.
・石井君, 自宅へシンガポール事ム所長への任命あいさつに, 夫妻で来訪.

5日 (月)
・54年度設備計画の労組説明の補足として, 日韓ケーブルの工事体制, 要員についての説明を求められ, 建設部長より説明する席に同席. (10:00〜10:15).
・台湾ITTのMr. Wangが来日し, NASC 増田社長が昼食に招待, 同席. (32F, シャンボール)
・郵政省電監室に, 安田参事官を訪ね, Indonesia-SingaporeケーブルにKDD丸を使用できない理由を説明. 了解を得る. 趣意は, NTT黒潮丸を使うことに, KDDが異存なきことを確かめたかったことにあった模様.

6日
(火)
・前日に 郵政省 安田参事官に説明した件につき，連絡カードで，関係役員，両副社長に報告.

7日
(水)
・石井君に対するOLUHO　TSC元出席メンバーの歓送会.（はやし).

8日(木)～11日(日)　　事業知識講座の講演のため，浜田中継所へ出張.

13日
(火)
・TPC-3技術会合の資料検討打合せ.（13:30～15:45).
志村常務，海建本部 関係者. 出席.
・NASC 石谷課長と協議.
沖ー台ケーブル陸揚工事時の外部への通知等についてきく，NASCとしては，
1. 積極的に外部へ案内を出すことはしない
2. 郵政 電監室 関係参事官へは工事実施に当たっての報告(口頭)をしておく.
3. 報道関係からの現地取材があった時は応じる.（広報室とも協議する).
布設工事終了後，沖縄帰港のKDD丸乗員の慰労は，NASCでは経費を出すことが困難なので，KDDへ依頼したい.

14日
(水)
・TPC-3技術会議 対応方針(案)の作成.
・上記に関し，計画部門との連絡を今後もよくとり，計画部門と海建本部間でプロジェクトと推進上，行き違いのないよう計る必要があると考えられるので，総合計画部長，技術計画部次長にその旨を話し，了解をとる.
・大井電気 中内氏に，新しいケーブル障害位置測定器の試作について，引き受けられるかどうか打診.

15日
(木)
・TSC会合対処方針案の検討：猪股，矢口，江幡，京極.
・OLU区間バシー海峡に適用する強化ケーブルの開発方針について，協議.（江幡，嶋谷).

16日
(金)
・午前，佼成病院にて，胃カメラの検査.
・OLU区間バシー海峡に適用する強化ケーブルの開発検討状況について中間報告し，今後の方針について討議.（14：00～16:00)
志村常務，海建本部，KCS運航部長，保全部長.
・TPC-3技術会議用資料の検討打合せ.（16:00～18:00)
志村常務，海建本部 関係者.

17日
(土)
・出社.
TPC3技術会議用 資料の 検討.

19日
(月)
・事業知識講座の講演のため，高萩衛星通信所へ出張.
午後，講演.

20日
(火)
・朝，高萩より 帰京.
午後 本社.
TPC-3のATTとの技術会合対処方針を22日の役員会へかけることとなり.(27日，3月1日の役員会は社長不在のため中止)，急遽，資料を作成.

21日
(水)
・役員会資料の事前説明.（両 副社長，社長へ).
また，関係部長へ協議(総合計画，技術計画，国際部，保全部).
・社長へ事前説明の際，TAS(-C)について質問あり.

22日
・役員会で，TPC-3のKDD/ATT技術会合対処方針の審議を受け，了承さる. 審議の中で，鶴岡

(木)　副社長より，1. TPC-2の回線使用効率の向上についてATTへ申し入れる件. 2. 回線容量の大きいCS-36M方式の方がよいのではないか，との 発言あり.
この件に関し，川鍋 総合計画部長と協議.
・何れも，計画部門の問題で，KDDで検討後，計画の見直しとして次回首脳会合へもち出す問題と考えられる.
・志村常務，福地取締役の協議.
・技術会議の席でなく，別途，雑談的に話したらどうか.
以上の状況，常務より，鶴岡副社長に話し，了解をとるとのこと.
・OCC 斎藤部長 来訪.
・1.5”ケーブルは，現設備をフル稼働すれば，年間1800nm(180nm×10月)の生産が可能なので，TPC-3については 2年でつくり得る. よって，全部OCCで賄い得る用意がある，とのこと.
・procurementはまだ先のことであり，costも問題になる.
また先に，HAW-4，COMPAC-2が計画されるので，その模様も見ないと，今OCCに全部委せるとは言えない，旨　回答.
・costについては，3600nmのケーブルを連続生産すれば，低減化が図れる. また，COPMAC-2は，イギリス系が全部調達することになっても，OCCは余りこだわらない. TAT-7の例で，SG方式ならRep.はWE Co.で，ケーブルはSTC，またNG方式ならRep.はSTC，ケーブルはSimplexと分担しているようなので，TPC-3で，Rep.は日本，ケーブルは米国と供給分担になることを恐れる，とのこと.
・OCCは，沖ー本とHAW-4の両方の計画を考慮に入れているが，同時発注になるとHAW-4は断らざるを得ない. これが，信義上の問題になると困る. 沖ー本は 今年の秋までに指示があれば，’81年前半に納められる.

23日(金)　・MPT 電監室 倉地参事官，八木氏を二宮中継所に案内. 中継所設備と，アルミケーブル実験方式の設備を案内説明.
・16:00帰社.

24日(土)　・NASCゴルフコンペ . 武蔵野G.C.

26日(月)　・日中ケーブルの障害修理に関する特別会議. (KDD/SPT間)に午前中出席.
・TPC-3のKDD/ATT間技術会合打合せ. (14:00～16:00).
常ム ほか，会議出席者を中心とし，資料の推渉状況および各議題への対応について打合せ.
・SPT代表(張徳忠，徐志超 ほか)の笹本取締役招宴に出席(三井ビル. マンダリンパレス)

27日(火)　・ATT/KDD技術会合の資料作成.
・OLUケーブルの作動改善のための バシー海峡海洋調査結果の検討に関する専門家会合の報告を江幡君からきく.

28日(水)　・TPC-3に関するATTとの技術会合資料作成.

3月

1日(木)　・TPC-3に関するATTとの打合せ用資料の検討. (10:00～)
総企 塚田課長より，第3フロリダケーブルの申請がFCCにより却下されたことによる，太平洋ケーブル計画への影響について話しあり.

2日(金)　・OLUHO TSC第9回会合(マニラ)の対処方針の事案を笹本取締役及び志村常務に説明，了承を得る.
・沖ー台ケーブルの工事体制，連絡系統等についての建設部案を審議.

（志村常務室にて，10:10～11:30）
・猪股，松田両君に，出張中の処理事項を指示.
1．沖ー台ケーブル．2．日ー韓ケーブル．3．東西マレーシアケーブルの機材，要員の貸し出しについて.（要員については，4名の希望がKCS小林部長より申出されている.）
・江幡，京極君と，OLUHO TSC会合への対応について協議.

3日（土）　・海外出張の準備.

4日（日）　TPC-3のに関するATTとの技術会合ならびに，OLUHO TSC会合に出席のため，米国，フィリピンへ向け出発.（志村常務，湯口，北村 両君）

5日（月）　ニューヨークより，ニュージャージー州へ.

6日～7日　ベドミンスター ATT，Long Lines ficeにて，技術会議.

8日（木）　ベル研(ホルムデル)を訪問，技術討議.
午後，軽飛行機にて ボルチモアへ，Plow-4を見る.

9日（金）　・ニューヨーク，ケネディ空港発　PAMで 成田へ.

10日（土）　・成田にて，石川保全部長，江幡，山本両君と落ち合い，パキスタン空港に乗り継ぎ，マニラへ.

11日（日）　・ホテルで，TSCに対する対応の打合せ.

12日(月)～14日(水)　TSC　第9回会合：chairmanを務める.

15日(木)～16日(金)　Convenor's　Reportを作成.

17日（土）　・マニラ発，帰着.

19日（月）　・志村常務，笹本取締役に，TSC会合の報告.
・NASC 増田社長に帰着あいさつ.
・日韓ケーブル機材調達に関する問題の進展を計るため，関係役員懇談会の開催について，志村常務より指示あり，資材部長，福地取締役に協議.
・社長室，総務課長より，会社創業記念日に表彰するCW　Mr.Daviesのattendを依頼さる.

20日（火）　・日韓ケーブル計画の進展に関する関係役員懇談会の資料作成を業務課長に指示.
・社長室 渉外担当 浅野調査員より，Mr.& Mrs Daviesの沖縄訪問の案内について協議あり.
・社長室 職員部より，人事異動の内命の依頼.
・NASC 取締役会.（15:00～16:20）.

21日（水）　春分の日.
出社し，業務課長，課長補佐と，関係役員懇談会の資料作成.

22日　・日韓ケ-ブルの計画促進に関する，関係役員懇談会を主催.

(木)　古橋，木村，志村，福地 各役員．法務，総計，国際，経理，海建，資料 各室部関係者 出席(10:40～12：15)．
・江幡君と TSC マニラ会合の報告書作成の協議．
・湯口，北村 両君と，TPC-3 の ATT 会合の報告作成について協議．

23 日
(金)
・前日の関係役員懇談会の議事要旨をまとめるよう，業務課補佐に指示．

26 日
(月)
・人事異動 発令．
木下君，海底線部次長へ．
・東海大 道下教授 来訪．
・新海底同軸ケーブル方式の開発会議，推進連絡会議，合同会合に出席．(15:00～17:00)．
於，霞ヶ関ビル，東海大校友会館．

27 日
(火)
・榊君，学位取得の報告に来訪．
・日韓ケーブルの機材調達に関し，OSROK より KDD と協議したい旨の申し出あり，志村常務の下で，資材部 ほかと対策を協議．(15:00～16:15)．
・沖縄におけるケーブル陸揚工事視察のため，沖縄へ出張．
JL909 便にて，18:40 羽田 発，21:30 沖縄 那覇着．
ホテル，タイラに投宿．

28 日
(水)
・2 本目の予備ケーブル陸揚工事を見る．
NASC 増田社長，CGRA　Y.C. Huang(黄詠昌)局長に会う．

29 日～30 日(木)・海象悪く，作業中止．

31 日
(土)
・帰着：JL900　那覇 8:35 発，羽田 10:45 着．
本社へ寄り，3 本目の予備ケーブルの陸揚工事が施工されたことを知る．

昭和54年度

4月

2日
(月)
・第26回 創業記念日．帝国ホテルにて式典　．11:00～12:00.
パーティで，CWのDavies夫妻をAttendｄ.
・15:00帰社
矢口君から，出張中の状況報告あり：大原君の国内留学に伴なう後補充について，ほか.
・夜，Comsat Dr. Charyk夫妻.
CW Mr. Davies 夫妻に対する 社長招宴に出席.（般若苑）.

3日
(火)
・NEC 清水部長　来訪：沖ー台ケーブル積込中の問題の処理について.
・志村常務より.
1. 沖ー本ケーブルに関し，沖縄の海中で分岐接続し得るか否か.
2. 台湾―沖縄間米軍ケーブルを，米軍徹退後，沖ー台ケーブルの予備に活用する件につき，CGRA黄局長がKDD訪問の際，検討を依頼したとのこと.
3. TPC-3関係のATT/KDD会合の後処理について.
光ケーブル，TASI等について，関係部門であとを進めるよう協議のこと.

4日
(水)
・第9回TSC(マニラ)の会合報告は，連絡カードで関係役員，大島副社長に供覧すればよことと，江幡君の案を検討，訂正.
・NASC会議室にて，NECより提出された，積込時の事故報告書の取扱いについて，関係者間(NASC，海建，資材部)で検討.（16:00～17:30）
・NASC今井課長に，NASC/KDD間の保守委託契約の促進方を指示.

5日
(木)
・TPC-3関係の KDD/ATT間技術会合報告を役員会に提出したが，時間なく，次回廻しとなる.
・ITDC/CGRA/TTA職員6名(李天雲氏ほか)が沖ー台ケーブル1次布設に参加していたが，KDD丸より下船したので，招待.（野村ビル，桃里）

6日
(金)
・部長会なし.
・NEC 田畑氏より Tel.
1. TPC-3関係の機材製造時期の問い合せ.
2. OTC(A)より，濠州ーハワイケーブルにofferの誘いがあった.
3. OTC(A)からの問い合せで，濠ー東南ア方面のケーブル網の提案をした.
4. OTC(A)から，NEC-オーストラリアで海底中継器をつくるようにできないかとの話がしがあった.
5. 以上は，Fujitsuには内緒にしてほしい.
・沖縄-本州ケーブルに関するNTTとの折衝方針について，関係役員懇談会で討議.（総合計画部 主催）　14:00～15:30
NTTの反対理由に対する反論をさらにNTTに説明し，対立点を郵政にもち込む方向で進めることとなる.

9日
(月)
・木下 次長，松田君より引継ぎを受けた旨報告.
・異動に伴なう 海底線部 歓送迎会.（今佐）
・NASC 増田社長に，2次布設の期間，春斗に対処する必要のあるため，KDD丸に乗船困難の旨説明．了承を得る.
・研究所 新納，布川 両君 来訪(IEE，投稿の件)
・海底線部打合会.（10:00～12:00）
・各プロジェクト，開発，海外協力等に関する情勢，と問題点.
・作業分担.
・当面のプロジェクト(OT，日韓)は猪股課長.
・将来のプロジェクト(TPC-3，沖ー本)は杉本副参事.

・開発関係は，杉本副参事.
・海外協力関係は猪股課長.
プロジェクトに関し，
・建設プログラム，建設費，機材調達：柴田調査役.
・陸揚地，ルート選定　　：江幡調査役.
・計画設計，システム設計：湯口調査役.
・総合工程管理，要員 は 次長.
・志村常務に報告.
1. 沖ー台2次布設終了時の関係者慰労について，KDDで主催することの了承．業務課で事案決定，準備手配を進める.
2. 明年ロンドンで開催されるIEEの海底ケーブルconfererceにKDDより2件のpaperを出すことについて 了解.
3. 沖ー本ケーブルのスケジュールについて.
発注契約を暫定数量で行ない，海洋調査を併行して進めるようなことでないとスケジュールを守れないのではないかと，意見を述べる.

11日
(水)
・沖ー台，2次布設時の沖縄，KDD丸，頭城における工事参加者について，矢口補佐より報告.
・沖台ケーブル布設工事の実施に伴ない，ケーブル交差に関しNASCと協定を結んだNTT海底線施設工事事務所長，総合工事長，施設課長ら と懇談・会食(ろう山).

12日
(木)
・日韓ケーブルの工程管理図(PERT)について，木下次長，猪股課長，湯口調査役と協議.
今後のフォローアップを進めるよう指示.
・木下次長，武田業務課長に対する志村常務の会食に同席(32F)．18:00～19:00.

13日
(金)
・三信工業 博松氏 来訪．(9:30～10:15).
プラスチゾールのKDDにおける使用意図について訊ねられるが，今の所，ジュート使用が経済性と実績から主となっており，問題もないのでとくにプラスチゾールの導入の検討はしていない．安くてよいものがメーカーでできればプロポーズすべきであると回答.
・TPC-3のATT/KDD技術会合の役員会報告，再び次回廻しとなる.
・部長会．(14:30～16:00)
・KEC 図書 のカバーとグラビアについて協議あり，カバーについては，志村常務の意向もあり，再考してもらうこととする.
・IEE海底ケーブルconferenceのsynopsisの検討.
・湯口調査役より，光海底ケーブルの研究開発推進に関する総企，技計部主催の打合会合の模様の報告あり.

16日
(月)
・ITDC　Mr. Yang, Mr. Yeh 来訪．(9：30～).
(1) Oki-Taiケーブルの保守.
前回の技術会合後：KDD丸を保守に用いることをDGT．や交通大臣に話し，了解を得た.
ケーブル船協定の作成を進めたいので，ITDCからNASCへ文書を出したいがどうか
(Mr. Yang)
・保守については，NASC/KDD間で協議中．文書をITDCからもらえば，それをKDDに送付して検討してもらう．　委
(2) TAI-GUAMの保守をKDD丸に頼み．spareも横浜に保管してもらうことができるか．シンガポール船(CW)にTAI- LUを保守してもらうことで，CWからは協定案をもらっている.
が，TAI-GUAMはSFシステムであり，距離も横浜の方が近いので，KDD丸に頼みたい.
(Mr. Yang)
・ stand-by baseか，charter baseかで，経費も異なり，船の義務も変る．何れをとるか，国際部，保全部とも協議する．(国際部長：保全部が引受けられるかどうかが先決である．保全部長：可能とは思う，TPCの利用協定が変るので，それを考慮したい).
(3) OKI-TAIとTAI-GUAMのアースの共用は可能か．なお，TAI-LUはCWでつくるが，アー

スは簡単である．但し，アース抵抗は高い．(Mr. Yang).
△検討中，である．
・会合後，昼食(KEIO Plaza. HTL，樹林).
・TPC-3 の ATT/KDD 技術会合の結果について，関係部門(総合計画，技術計画，建設部)に説明(15:00～17:00).
・ITDC，Mr. Yang，Mr. Yeh の表敬に立会う．(志村常務，板野社長).
・ITDC/CGRA 職員 6 名に対する NASC 社長招宴．(南園)
△日韓ケーブル技術作業部会　開催．16 日～18 日.
木下次長，猪股課長を出席させる.

17 日
(火)
・役員会に，TPC-3，ATT/KDD 技術会合の報告．(10：55～11:45).
・上記に関し，役員会ででた意見，指示を関係部門に伝えるため，小会合を開く.
(14:00～15:30).
主として，日米間直通ルート TAS，ケーブル船の問題.

18 日
(水)
・新技術開発推進委員会(43 回)に出席(13:30～18:30).
・日韓ケーブル技術作業部会 MOC 代表に対する志村常務招宴(南園).

19 日
(木)
・NASC 増田社長に Mr. Yang から話しがあった OKI-TAI ケーブルの保守に関する問題について報告：ITDC から書信をもらい，それにより KDD で検討してもらう方法について了承を得る.

20 日
(金)
・ITDC/CGRA/TTA 職員 6 名を案内し，関西から沖縄へ.
新幹線にて京都へ．京都泊(ロイヤル HTL).

21 日
(土)
・近鉄にて，賢島へ．志摩観光ホテルで昼食，後車で鳥羽へ，鳥羽国際ホテル泊.

22 日
(日)
・パールアイランド見物後，近鉄で大阪へ．東洋ホテル泊.

23 日
(月)
・伊丹空港より，JAL で沖縄へ．沖縄中継所訪問．沖縄パシフィックホテル泊.

24 日
(火)
・ITDC　Mr. Yang ほか，KDD 丸へ乗船，15 時出港を見送り，18:40 発の JL908 で帰京.

25 日
(水)
・志村常務，NASC 増田社長に KDD 丸見送りを報告.
・TPC-3 の KDD /ATT 技術会合の要旨報告を部長会資料として作成.

26 日
(木)
・NEC 田畑氏来訪(9:30～10:30).
・インドネシア国内ケーブルに関する NEC のポロボーザル，及び，非公式に NEC が入手した OTC(A)の国際通信網計画関係資料を持参.
・志村常務に上記の件報告.
・53 年度下期の副参事定期管理表を志村常務に提出.

27 日
(金)
・総企 塚田課長(プロジェクト計画)に，NEC から入手した前記資料のコピイを渡す.
・3 類，4 類管理者の定期管理表を作成.
・TPC-3 の KDD/ATT 技術会合の英文ミニッツを北村海洋課補佐と検討.

28 日　出社.

(土)　3類，4類管理者の定期管理表(53年度下期)の作成完了.

5月

1日
(火)
・広報室 平岡調査役より“国際電信電話”6，7月号への寄稿の依頼あり.
TPC-1の開通15周年に当り，その回顧と，ケーブルの現状，将来動向について，かいて欲しいとのこと.
・沖ー台ケーブルの布設，最終段階に入る.
・沖縄出張中の矢口君より自宅へTel，(10:00). R-31の歪特性がよくなく，布設作業時のショックで，SV周波数が0.2Hzずれたとのこと.

2日
(水)
・午前，0時56分，最終投入，布設完了.
・増田社長に報告. (9:40分).
・13:40　ANA85便にて，羽田発，沖縄へ.
・研究所 新納君よりの情報. (5月1日午後).
BPOより，R.L. Smithほか2名が，光ケーブルの動向調査のため来日し，NTT, NEC, Fujistu等を訪問，KDDの訪問も希望，総企，技計で扱うとのこと.
・沖縄通信事務所にて，KDD丸帰港後の慰労パーティの段取りにつき打合せ.
・夜，パシフィックホテルにて，沖縄通信事ム所の関係者(可児次長,与那城課長，蕗田調査役ら)と会食.
布設時，沖縄にて電気試験に従事した杉本，徳江，矢口君らから状況説明をきく.

3日
(木)
・那覇空港にて，来沖の志村常務を出迎え.
・13:00安謝新港に入港のKDD丸を出迎え.
・那覇亭にて，ITDC/ITA/TTAのMr. Yang以下6名の志村常務招宴.

4日
(金)
・志村常務と，沖縄中継所訪問，システム試験の状況を見る. (9:50～11:20).
・パシフィックホテルにて，KDD丸乗組員の慰労パーティ. (18:00～20:00).
パーティ終了後，沖縄事ム所 関係者と会食.

5日
(土)
・9:00発　ANA80便で帰京.
・Mr. Yang以下とサンルートホテルで昼食.

7日
(月)
・沖ー台ケーブル布設後，開通に至るまでの処理事項について，海底線部 次・課長と打合せ.
技術・業務両課長に，関係部，NASCとの協議を指示.
・志村常務より，社長に説明するための，ケーブル船建造に関する資料を早急に作成するよう指示あり，木下次長，猪股，武田 両課長に直ちに資料作成を命じ，とりまとめ.
(18:00～21:00).

8日
(火)
・ケーブル船建造に関する資料を修正のうえ，志村常務に提出. (13:40).
・小室受信所より，畠役調査役，応援に来訪.
・沖ー台ケーブルの開通式について，NASC社長の下でNASC関係者間打合せ.
(10:30～12:00). NASCで案を作り，KDD，MPTに協議することとする.
・シンガポールTAS General ManagerのKDD訪問時におけるケーブル関係の意見交換に備えるため，関係役員懇を開いて討議するようarrangeを始める.

9日
(水)
・上記関係役員懇談会のarrange.
・富士通 関川氏，日韓ケーブルの機材発注内示のあいさつ，沖ー台ケーブル布設時のR-31の製造時の履歴調査について協力を要請.
・KDD25年史の出版記念パーティ.
・明日の参院逓信委に備え，待機.

10日
(木)
・ATT Messrs Goebel, Pappert の KDD 来訪に伴い，太平洋地域の通信の発達に関する一般的な話し合いが，国際部主催で行われ，参加．(14:30～16:15).
KDD 側 木村常務，国際部，総合計画部，営業部，海底線部.
・沖ー台ケーブルの開通に伴うセレモニイに関し，NASC より，社長室監理課に協議の結果，海底線部より庶務部に話しをもち込み，両部より社長室に協議する形をとることとなる.
・ATT Messrs Goebel, Pappert に対する鶴岡副社長主催のレセプションに出席(ホテルオークラ).
席上にて，西本社長室次長に，沖ー台ケーブルの開通セレモニイに関する協議協力を依頼.

11日
(金)
・部長会(10:00～11:00).
・NEC 鈴木欽也氏来訪.
・シンガポールーインドネシアケーブルの保守に関し，TAS の Mr. Goh Sen Kim から proposal を出すよう要求されている．どのように考えて対処したら KDD の方針にも支障を及ぼさないか等の問題について話し合う.

12日
(土)
・OCC の招待ゴルフ．(霞ヶ関)

14日
(金)
・シンガポール TAS General Manager Mr. Goh Sen Kim の KDD 訪問時の会合への対処(ケーブル関係)について，関係役員懇談会 を主催．(10:00～11:30)ケーブル船関係は海底線部主管で検討することとなる.
・ITDC Mr. Yang から Tel. 沖ー台ケーブルの回線使用時期について，6月中にサービスインの可能性の問い合せ：回線試験，回線使用の MPT 認可等あるので6月中は難しいかろうと回答.

15日
(火)
・NASC 今井課長より，ITDC Mr. Huang 社長から Tel あり，開通について.
・光海底ケーブルの開発に関する，技術関係役員の技術打合会(第13回)に出席(15:30～17:00).

16日
(水)
・OCC 斎藤氏来訪．(11:15～11:40)
バシー海峡用ケーブルについて，協議.
・研究所 中井，新納両君来訪.
光海底ケーブルに関する NTT との非公式打合せについて，話しあり．その他，KDD における開発について，意見を述べる．(開発方法，方式長，など).
・志村常務より.
ITA Huang 局長より鶴岡副社長に Tel あり，沖ー台ケーブルの回線使用を6月中にしたい.
開通式は7月1日に亜東協会，交流協会，東南ア 関係キャリヤを招いて行いたい，旨の申し出があったとのこと.
KDD では，この問題を国際部でとりまとめることとなる.
・網管部成田部長より，ATT, Mr.Kirkland ほかが TPC-2 の 9600 ボーの問題で来日する際の接待について協議あり.

17日
(木)
・部内打合せ．(10:00～12:00).
各プロジェクトの状況，沖ー台ケーブル試験完了後，開通までのスケジュール，光海底ケーブル開発の動向，日韓ケーブルの工程管理図，等.
・総企 技計部 深田課長より，光海底ケーブルの開発計画の役員会資料作成に当っての協力依頼.

18日
(金)
・広報室より依頼の TPC-1 15週年に当って，国際電信電話誌に寄稿する原稿作成終了.
広報室へ提出.
・NASC 取締役会(第14回)．(15:00～16:30)

・次長・技術課長に，沖－本ケーブルの計画図の検討を指示.

19 日
(土)
・出社.
資料整理.

21 日
(月)
・菅野前社長の社葬に参列.（青山葬儀所）.

22 日
(火)
・光海底ケーブルの開発計画について，湯口君と話す.
・木下次長と，沖－本ケーブルの計画図について，協議.

23 日
(水)
・光海底ケーブルの研究開発計画に関する打合会合(総企，技計 主催)に出席
(10：00～12：40)
・業務課長より，沖－台ケーブルの開通に関し，関係部門(社長室，庶務，国際，海建，NASC 等)間で協議が行われ，社長室より社長の意向を伺うこと，開通式の日取りは網管部では 7 月 6 日以降ならよいとの意見であること等が話し合われた旨，報告あり.
・明 24 日，参院逓信委に KDD が参考人として出席のため，日韓，沖－台ケーブルの資料を志村常務に求められ，作成.

24 日
(木)
・参院逓信委.
・TAS との首脳レベル会合における，ケーブル船の問題について，関係部門間打合せを主催.
(13:30～15:45). 海建，総計，技計，国際，経理，保全，各部.
※. TAS 総裁 Mr. Goh の来訪予定は，未確定，かなり先(2～3 ヵ月先)になる可能性あり.
・業務課 桂主任に，労厚部 労働調査課への異動について内示.（5 月 31 日発令）.

25 日
(金)
・志村常務に報告.
1. KDD 丸の沖－台ケーブルの保守への使用に関する，KDD から NASC への文書.
2. 業務課 桂主任の異動について.
・日韓ケーブル，沖－本ケーブルの建設計画のパート図について志村常務に説明打合せ.
(14:00～15:30). 海底線部・建設部 関係者(部・次・課長)出席.
沖－本ケーブルについては，海洋調査の実施について，急を要するほか，機材調達も便法を講ずる要あり，関係役員懇の開催について，総合計画部長に申し入れることとする.
・ NASC 今井，清水両課長と，沖－台ケーブルの保守問題，とくにケーブル船の使用に関する，NASC/KDD 間，NASC/ITDC 間の協議方法，文書交換の方法について協議.

26 日
(土)
出社.
資料整理.

28 日
(月)
・総合企画会に出席(10:00～12:00).
光海底ケーブル方式の研究開発計画についての審議に関係部門として参加.
・バシー海峡用のケーブルについて，OCC と協議.（14:00～16:00).
OCC 斎藤氏 ほか，KDD 江幡，嶋谷.

29 日
(火)
・沖－台ケーブルの開通に際しての記念式典に関する NASC 内部の打合せ(10:30～12:00)
KDD 社長より，NASC 主催で，7 月 9 日に完成式の形で行うのがよいとの意向が出た旨，KDD 社長室，庶務部，NASC 総務・業務間の打合結果が報告され，今後の対処について NASC 社長の下で協議.
・志村常務に報告.
1. TAS との会談における，ケーブル船の問題について，関係部門と打合せた状況.
2. 沖－本ケーブル計画について，総合計画部長に，1981 年末完成のスケジュールを守ることが困難となってきたことを伝えた状況.

30日　・定期 健康診断を受検.
(水)　・東西マレーシアケーブルの布設工事に関するNEC/KCS間の契約接衝状況がKCS 広島専務，小林部長より説明あり，志村常務，建設部長とともに聞く.
・日韓ケーブル計画について，労組へ説明.（労厚部主催，施設近代化計画の説明の一環として建設部長より説明.）(14:30～15:00)

31日　・NEC 川辺氏，及び 田畑氏(シンガポール出張先から)より Tel.
(木)　マレーシア，インドネシア両政府が，メダン―ペナン間の海底ケーブル建設を合意し，引合が，79年8月にNEC，STCに発出される計画となっているが，その前にルート調査についてKDDとCWに引合を出し，入札により何れに頼むかを定めることとしている，とのこと.(9:15～9:30).
以上について，志村常務に報告し，経緯等をきくため，NECにきてもらい関係者間で打合せる.（16:30～17:30）
KDD 志村常務，海建，海協.
NEC 鈴木，川辺，清水，各氏(営業)
・沖縄－台湾間米軍ケーブルが障害を起し，CWが修理のため，沖－台ケーブルの位置を知りたい旨のTLX(保全部あて)が来る.
Mr.Y.Y. YangにTel.し，了解をとる.

6月

1日　・部長会.（10:00～11:20).
(金)　・NEC 本郷氏より Tel.
MENANケーブルに関し，NECの実績，その他所有の資料等により，KDDが要請されているルート調査の見積りに対する参考情報の提供を依頼.
・沖－台ケーブルのシステム試験完了に伴ない，ITDCへの連絡，次回技術会合の開催等について，次長，技術課長と協議. 議題，開催時期について関係部門(保全，綱管，建設 各部)と協議するよう指示.

2日　志村常務杯　G.C.（第2回）
(土)

4日　・診療所にて，血圧再測定.
(月)　・NASCにて，沖－台ケーブルの完成記念行事の打合せ(14:00～16:00).
・NEC 本郷氏来訪.
MENANケーブルのルート調査に関し，NECから参考情報の提供あり.
・海外協力室三宅次長，海底線部柴田調査役から，6月2日(土)に郵政省 国際協力課にMENANケーブルのルート調査見積依頼がKDDに来た旨を説明した状況の報告あり.
・以上の状況を踏まえて，今後の作業を進める上の方向を確認するため，海協，海底線，建設の各部室関係者で志村常務の下で協議打合せを明日開くよう海協室に申し入れることを柴田君に指示.

5日　・沖縄通信事ム所 識名所長より Tel.
(火)　台湾一沖縄間米軍ケーブルについて，喜手名米軍の1 officerから，このケーブルは明年1月1日から使用しなくなるがKDDがこれを使う(譲り受ける)ことはどうかとの話があったとのこと. 台湾からも話があり，経費もかかるので検討を要する旨回答した経緯を伝え，難しそうだとの感触を話してもらうこととする.（本ケーブルは建設ヒ540万ドル，spareはハワイ・ポートアイランドに保管されている由：㊙）
・MENANGケーブルのルート調査見積りに関する打合せ.（海協室 主催)14:00～15:40
志村常務，海協室，海建本部　関係者.

6日　・午前，佼成病院 皮膚科.
(水)　・MENANG ケーブル・ルート調査見積りに関し，アジア海洋作業(OWA)KK/NEC より関係者来訪し，作業内容，使用船，スケジュール等を打合せ．OWA より，見積りを早急に提出してもらうこととする．(15:30～18:00).
・業務課 新旧主任(桂君と増田君)の歓送迎会．(西湖).

7日　・MENANG ケーブル ルート調査見積り.
(木)　NEC 田畑，川辺氏，OWA 小林氏 来訪し，打合せ(14:00～16:00)
OWA より見積りが提出され，討議．会合後，田畑，川辺氏と経費総額の低減について協議．田畑氏，志村常務にあいさつ.

8日　・MENANG ケーブル・ルート調査.
(火)　OWA の提出したコストデータより，建設部で算出した経費について社内で検討．(14:00～16:00).
NEC 田畑氏，OWA 小林氏 来訪し，OWA の再算定結果と，KDD の算定結果を比較し，調整．したスケジュール，作業内容で今後の作業を進めることとする．(16:00～19:00).
・広報室より，国際電信電話の原稿依頼.

9日　・KDD ゴルフコンペに参加．(富士国際).
(土)　夜，田畑氏より Tel あり.

11日　・総企会に出席．(10:00～12:20)
(月)　HAW-4 ケーブルの回線・割当に関し，検討.
・社長室 渉外担当 大矢課長より，6月28日～6月30日の衆院逓信委員の九州方面の調査に苓北中継所が入っており，その案内を要請される.
6月29日は NASC 株式総会に当るので，NASC 増田社長に了承を得る.
・ITDC に OT 技術会議開催提案の TLX 発出.

12日　・日韓ケーブル 製造連絡会．第1回会合に 出席．(9:30～11:30).
(火)　FJT,NEC,OCC/KDD 間で打合せ.
・FJT 関川，小野両氏より，会合後，沖ー台ケーブル布設中に SV のレベル，周波数の変化をみせた，R-31 の製造時データの説明あり.
・海協室，学園で導入した，海外研修生用 Teaching Machine の見学.
・MENANG ケーブル ルート調査見積り提出の事案決定処理が海協室により進められ，Malaysia，Indonesia へ TLX 発出.
・石谷サンパウロ事務所長の歓迎．(ギルド)

13日　・役員懇談会(14:00～16:00).
(水)　両副社長他，関係の技術，業務系役員出席し，光海底ケーブルの研究開発計画について審議.
・NEC 川辺氏より Tel．(17：15).
MENANG ケーブル海洋調査の見積り提案について，マレーシアより，「日本政府の許可を条件とする」点が問題になっている旨の情報が入ったので，至急善処した方がよいとのこと．海協室三宅次長に伝え，その後，郵政より了解を得たので，TLX をマレーシア，インドネシアに打つとの連絡あり.

14日　・NASC 取締役会．(14:00～).
(木)　・沖縄-台ケーブルの開通に際し，沖縄中継所の保守体制に関する労組との協議がとっていない点に関し，保全部松村次長より状況をきく．6/22(金)に協議を行なうとのこと，その協議が整わないと，回線試験が実施できないか否かを回統部十二課長に問い合わせたが，試験であるから(建設中の作業として)実施できるものと考えているとの回答.

15日　・KCSコンペに招かれる.（平塚富士見）
（金）

18日　・パスポート更新の申請に，有楽町交通会館へ立寄り.
（月）　・国際電信電話誌へ寄稿の原稿作成.
・合同委員会書記を通じての，次回合同委員会日取りを8月3日に予定する件を大島副社長に意向を伺う.
・業務課 新旧両主任に対する 部の歓送迎会.（熊野会館）.

19日　・NK合同委員会の次回会合の開催について，KDD側，幹事，書記間で打合せ.
（火）　研究所より，中井室長，鍛冶副所長 来訪.（10:00～11:00）
・台湾ITDC. Mr. YangよりTel.（12:10）.
（1）次回技術会合への出席者数とホテルについての問い合わせ.
（2）予算計上のため，最初の保守会議をいつ頃開くか知りたい.
（1）については8名，ホテルはImperial，（2)については，何もなければ，早急に開く必要なしと思うと回答.
・保全部長より，沖縄中継所保守体制に関する組合との協議の問題について説明あり.
・NASC 増田社長に，技術会議で，首脳へのリポート(建設の経緯と結果)を作成し，しめくくりを付ける件につき説明し，了承を得る.

20日　・研究所 新納君 来訪.（9:20～10:00）
（水）　光海底ケーブルの開発における，BTL/ATTとの協調方法について，意見を交す.
・第2JASCの建設費見積り依頼を総合計画部より受け，その検討結果を志村常務に説明のうえ，回答.

21日　・広報室より依頼の，国際電信電話誌への原稿を送付.
（木）　・NASCにて，沖ー台ケーブル完成式典関係打合せ.（13:30～15:00）
・布設・埋設修理工法開発連絡会.（14:00～17:30，途中より出席）
・夜，徳江，北村 両君と懇談.

22日　・部長会なし
（金）　・TPC-3の日本側陸揚地に関する部内関係者間打合せ.（13:30～16:00）
木下，猪股，江幡，杉本，武田，柴田　出席.

23日　出社.
（土）

25日　・第44回 新技術開発推進委員会　14:30～16:30.
（月）　新海底同軸ケーブル開発の郵政省への協力実施の最終報告.

26日　・有楽町 交通会館にて，新しく更新したパスポート受理. 10:00～.
（火）　・部内打合せ(14:00～16:00).
沖ー台ケーブル終了後，の取組み方について意向を示す.
1. 日韓ケーブル.
2. TPC-3.
3. ケーブル船.
4. 開発.

27日　・沖ー台ケーブル 技術会議(第6回)の出席者間打合せ.（10:00～12:00）
（水）　1. 建設工事報告

2. 保守関係.
・NASC にて，開通式関係打合せ．(13:30～15:00)
・KDD 板野社長に，逓信委員を苓北に案内する件，及び台湾への出張について挨拶.

28 日 (木)
・逓信委員会(衆院)委員の苓北中継所視察案内のため，苓北へ出張.
・羽田空港にて，田中(公)，鳥居(公)，鈴木(社)各委員に同行し，熊本へ.
・熊本空港にて，高須所長と逢い，明日の視察打合せ.
・熊本キャスルホテル check-in.
・熊本郵政局主催の懇親宴に出席.
左藤，宮崎，田中，鳥居，鈴木への各委員にあいさつ.

29 日 (金)
・熊本よりバスで苓北へ.
苓北中継所にて，約 1:00 hour の(田中委員を除く，他の 4 委員による)視察案内，説明.
1:30～2:30.Pm ，3 時前に，視察団，苓北を退去.
・熊本ー東京間の Flight，天候不良(大雨)のため，すべて欠航．止むなく，福岡へ向う，
自動車にて，福岡まで約 230km，6 時間半をかけ，22 時 40 分全日空ホテル着.

30 日 (土)
7:25 発，全日空機で福岡発，東京羽田空港着，8:55.
サミット警戒のため，車来ず．電車で KDD ビルへ，10:00 着.
志村常務，社長室 大矢 渉外担当課長に報告.
上記視察案内の報告をまとめる.
沖ー台ケーブル技術会議(第 6 回)の資料準備.

7 月

1 日 (日)
・成田 14:50 発，EG-203 で台北へ.

2 日(月)～6 日(金)
・第 6 回　沖ー台ケーブル　技術会議.
頭城陸揚　視察．(4 日).
電気通信研究所 視察．(5 日).
ITMC　視察．(6 日)

7 日 (土)
・台北 10:50 発　CX-450 で帰国..

9 日 (月)
・沖縄ー台湾ケーブルシステム完成記念式典．(ホテルオークラ).
式典，11:30～12:00.
パーティ，12:00～13:30.
・台湾出張中の処理，懸案事項について，木下次長より，説明を受ける.

10 日 (火)
・NASC 増田社長に，沖ー台ケーブル技術事項のリポートを説明.
文書処理して，正式に提出のこととする.
・関係役員懇談会．(15:30～17:00).
・茨城 第 2 マイクロ および 沖ー本ケーブルに対する NTT との接衝について.

11 日 (水)
休暇．(中防，服部，丸山 君と　G,ごてんば).

12 日 (木)
・NK 方式分科会，合同委員会 資料について，猪股，湯口君と打合せ.
・大井電気 伊藤氏来訪.

・新井さんの招宴．(住友ビル，コックドール)．
　和田，高呂，市原，中込，鍜治，渡辺，成田，石川，織間，鈴木　各氏招かれ懇談．

13日
(金)
・NK合同委員会 幹事・書記間打合せ．(11:00～12:00)．
　NTT 村上 技術局次長，掘口 調査役．
　KDD 亀田，鍜冶，猪股，中井．

14日
(土)
出社．

16日
(月)
・沖縄－台湾ケーブル回線使用の認可，郵政大臣より下りる．
・OLUのレベル変動，再発との情報．(昨年3月に事前修理で布設替した辺りとのこと)
・KEC 主催，「国際海底ケーブル通信」発刊記念パーティ．

17日
(火)
・NK 海底同軸ケーブル，方式分科会(第30回)　13:00～15:00，KDDビル．
・KCS小林部長 来訪．
　東西マレーシアケーブルの布設に対する応援のための要員拠出の懇請あり．

18日
(水)
・佼成病院 皮膚科に 立寄り．
・KEC主催．7月定期講演会　聴講．14:00～16:00．
　(社)日本経営協会 常務理事　額田巌氏．
　　情報化社会の光と影．
・鶴岡副社長より，加藤六月代議士秘書片山氏の紹介による東京電具(株)神田常務からのExar社製品の検討依頼を受ける．

19日
(木)
・NASC社長，秋元，藁氏らと，人事異動により，業務課高橋補佐が転出する後の業務処理について協議．高橋君の後補充はされないので，施設課谷野君でカバーすることになる．
・大島副社長に，N/K合同委員会の案内状を届けると共に，沖－台ケーブル第6回技術会議の報告．
・前日，鶴岡副社長より話しのあった件，中込研究所長に話し，研究所で検討してもらうため，資料を送付することとする．
　以上，同副社長に報告．その際，東洋電具はExarの100%子会社で日本のagentとなっている模様であること，:KDD内部で何か利用するものがあるかどうか検討を努力したことを示せばよく，外部メーカーへまで働きかける必要はないであろうことを確認．

20日
(金)
・職員部 技術要員担当 永井課長より，柴田調査役の昇格後の補充について，直ちには困難の旨，協議あり．本人の行先により仕事がどうなるかによる旨返答．
・若手社員の補充異動の件，徳江課長より協議あり，1名海底線部技術課，2名は浜田(海)中継所への要員として建設部へ配員とすることで了承．
・NK合同委員会資料の検討．

21日
(土)
・休み：CBC summer partyに参加(熱海，NEC保養所)

23日
(月)
・NTT 人事異動．山口開生氏　総務理事．
　　村上 治 氏　技術局長．
　　前田光治氏　施設局長　など
・研 中井室長来訪．NK合同委員会への方式分科会報告の検討．
・総企 川鍋部長より，NK合同委員会に提出する「国際ケーブルの近況」に沖－本ケーブルをどのように入れるかについて，文中では触れないが，図面には表示することとする．
・KDD先輩の叙勲祝賀会に 出席．

24 日 ・NK 合同委資料，局所長会議資料，新海底ケーブルに関する役員会への報告資料，等を作成
(火) ・NASC 施設課 清水，谷野 両君の慰労(ロスアルコス).

25 日 ・江幡君，柴田君に内示．(7 月 30 日発令分)
(水) 江幡：副参事，部付き.
柴田：同上 ，直江津中継所長.

26 日 ・苓北中継所近くに，九州電力が火力発電所をつくるに当り，日中間海底ケーブルとの関連
(木) 問題を KDD と協議したいとして，
九州電力関係者が大島副社長を訪問．笹本取締，石川保全部長とともに呼ばれ，話しをきく，今後の協議は保全部を KDD 側連絡窓口として行なうこととなる.

27 日 ・上記の件，志村常務に報告.
(金)

28 日 ・出社.
(土) 資料整理

30 日 ・人事異動 発令．江幡君 部付副参事へ昇任.
(月) 柴田君 直江津海底線中継所長へ昇任.
・9600 Bau の phase jitter 問題を協議のため来日の ATT Messrs. Kirkland, Lynch, McGraw, Calhoun, ITA(台湾) Mr. Chu の各氏と昼食(志村常務 招待).

31 日 ・アルミ海底ケーブルの開発に関する MPT への協力報告を役員会にて行なう予定が 延期となる．(次回役員会 8 月 16 日).
(火)
・富士通 研究所 取締役 川島将男氏，就任あいさつに来訪.
・人事異動に伴なう，歓送迎会

8 月

1 日 ・OCC 斎藤氏 来訪：アルミケーブルについて雑談.
(水) ・NEC 田畑氏 〃 ：東西マレーシアケーブル等について雑談.
・富士通 峰，森山氏顧問就任のあいさつに来訪.
東大海洋研 友田教授の深海底の画像による探査の目論見の話しあり.

2 日 ・社長室次長 久野村氏 急死し，葬儀が落合火葬場にて執行され，参列.
(木) ・部打合せ会(13:30～16:00)
仕事の分担と進め方を協議.

3 日 ・MENANG ケーブル海洋調査を KDD に頼む旨の firm order の Telex がマレーシアより来る.
(金) 契約および調査実施のスケジュールと，派遣人員について志村常務の下で，海協，海建，法務 関係者間打合せ．(10:30～11:40).
・海底同軸ケーブル NTT/KDD 合同委員会(第 9 回)に幹事として出席.
16:00～17:45．パレスホテル.

6 日 ・志村常務 夏休み．(5 日～8 日).
(月) ・日韓ケーブル技術作業部会 ソウルにて 11 日まで.
・総企 プロジェクト計画 塚田課長 来訪.
第 2 JASC について，9 月に GNTC のクリステンセンが来日し，話し合うことになろうが，第 2 JASC の建設の是非に関し，建設費が経済面の問題の基礎となるので，協議の際に協力してほしい旨 話しあり.

7 日
(火)
・MENANG ケーブル海洋調査に，技術課小林(達)君を派遣するため，組合への説明了承を要し，労厚部 海協室との協議を業務課 加瀬補佐に指示.
・上記海洋調査に赴く，北村，小林，富沢，赤尾 君らの激励のため昼食.

8 日
(水)
・第 2JASC の建設費の詳細検討の必要性について，木下，武田，矢口君に説明し，総企室に提供した建設費見積りの算定根拠の再検討を指示.
・第 3TPC の陸揚地選定の進め方を検討.

9 日
(木)
・有馬作郎君急死．片瀬の自宅に荒木直三君と弔問.

10 日
(金)
・海底線部，ゴルフコンペ．(武蔵野).

11 日
(土)
・出社.

13 日
(月)
・志村常務に，日韓ケーブル会議(9/6～9/11 予定)の対処方針作成と役員会へかける件について話す．業務課長に対処方針案の作成を指示.
・TPC-3 陸揚地の検討のしかたについて，杉本，江幡，湯口君らと協議.
選定のための要因と基準を先づ整理することとする.
・ケーブル船建造についての検討の進め方について，業務課長と協議.

14 日
(火)
・バシー海峡の水流モデル実験の状況を，東京水産大学 海洋環境工学科環境物理学教室にて視察.
東大海洋研寺本教授，東京水産大金成助教授と討議.
・部ゴルフコンペ懇親会(独逸亭).

15 日
(水)
・研 中込所長に Tel.　Exar の製品で研究所がほしいものがあったかどうかの確認．(7 月 19 日照会の件).
・斎藤二郎氏 来訪．(11:45～12:10).
・職員部 能力開発課より.
54 年度事業知識講座の講演を直江津中継所にて希望している旨，話しあり，本年度秋頃に可能の見込と返答.

16 日
(木)
・役員会に，新海底同軸ケーブル方式の開発に対する郵政省への協力状況を報告.
・日韓ケーブル会議 対処方針を事案決定処理することで，志村常務の了承を得，文書作成を業務課長に指示.
・ケーブル船 建造の打合せ(14:30～16:00).
木下，杉本，湯口，武田，増田.
1．設問の整理.
2．検討の進め方：総企と協議し，今後の検討体制を整える.

17 日(金)～20 日(月)　夏季休暇.

21 日
(火)
浜田海底線中継所起工式に出席のため，浜田へ出張.

22 日
(水)
起工式：終了後，広島経由で倉敷へ.

23日　倉敷より帰京.
(木)

24日　・ATT. Mr. Tuttleより，Letter来着：光ケーブルの共同検討についてATTの意向が示されており，検討を指示さる.
(金)　・TAS. Mr. Gohが9月5日来日し，KDDとの会談を望む報が入り，ケーブル船関係の検討を早急に行う必要ある旨，業務課長と協議.

25日　・KKON　G.C.（東名 富士).
(土)

27日　・IEE　Submarine Cable Conferenceに提出のpaperについて江幡君と討議.
(月)　・日韓ケーブル会議の準備について協議.（志村常務，鈴木建設部長，武田課長）
・TAS　Mr. Goh Sen Kimとの会合に備え，ケーブル船に関する問題の検討のしかたについて，木下次長，武田課長と協議.
・高呂氏の定年退職に伴なう，ブリッジ関係者の送別会.（サンルート，車屋）

28日　・日韓ケーブル会議の準備について，技術課長，業務課長と打合せ.
(火)　・東西マレーシアケーブルにKDD丸で工事を行なうため，NEC/KDD間で取交わす契約について審議する関係役員懇談会に出席.（14:00～16:00）
（大島，志村，笹本，福地，高仲各役員，保全，海建，経理，資材，法務，各室部長）

29日　・東西マレーシアケーブルの布設工事にKDD職員を派遣する件について，労組と事務接衝.
(水)　（15:00～15:40）
・本来業務ではない業務に対する今後の取組みの考え方，等について，会社が今後説明することで，労組は了承.
・三信工業 岡本氏 来訪：
SiC粒子複合PVCの外販についてNTTの許可が出た旨，報告あり.
・NEC 田畑氏来訪
東西マレーシア，S-Iケーブルに対するMaintenanceについて，状況の説明あり.
・猪股，湯口両君から，技術計画部小林次長主催の光ケーブル技術開発におけるATTとの協調問題(ATTからのLetter)の関係者間打合会合の報告あり.

30日　・シンガポールTAS総裁との会談におけるケーブル船の協議に対する対応について 協議のため，関係部門間打合会を主催.（10:00～11:30）
(木)　・第2JASCの建設に関する審議を総企会で行なうにつき，出席を要請されたが，代りに杉本副参事を出席させる.（15:00～）.
・ケーブル保守用物品保管所の竣工式に参列.（鶴見辰巳倉庫営業所)16:30～.

31日　・部長会
(金)　・日韓ケーブル会議(第7回)に対する事前打合会.（14:00～15:40）.
志村常ム 以下，関係部の出席者.
・志村常ムに報告.
NECより得た，S-Iケーブル，東西マレーシアケーブルの保守に関するNECとTAS等との間の協定案文書の内容，ならびに，TAS総裁とKDD間で9月7日に行われるケーブル船の協議対策の準備状況.（15:45～16:30）

9月

1(土)～2(日)　KDD酒勾会.

3日　・54年度 局所長 会議 開催.
(月)　・鶴岡副社長に，加藤六月代議士秘書片山氏より依頼のあったEXAR社製品の利用可能状況について研究所に照会したが，当面はない旨の現状であることを報告.
・海協室笠原副参事より，アルゼンチンへの海外協力使節団派遣の事案決定の話しあり.
・局所長に対する社長招宴.

4日　・遠隔制御形等化器に関する調査状況の報告を湯口君より受ける.(10:50～11:40)
(火)　TPC-3にCS-12Mを用いる場合，この種の海洋等化器の必要性はうすいことを確認.
・局所長会議　個別会議.(14:00～15:30).
・TAS Goh総裁との会合におけるケーブル船共同利用の討議資料の準備について業ム課長と協議.
・ケーブル船，TPC-3の技術的問題の検討，アルゼンチン出張時に必要な資料の作成等について技術課長，業務課長に指示.

5日　・長計21号作成のための要員計画について海建本部案を志村常務に説明，了承を得て職員部に提出.(木下次長 担当):(9:30～10:10)
(水)
・TPC-3の陸揚地選定のための条件等に関する打合せ(13:50～14:30)
・TAS総裁との打合会談に対する関係役員・部長間打合せ(15:00～17:00)
木村，志村，笹本 各役員，総計，国際，保全，海建各部長.
1. 中近東へのケーブル計画.
2. ケーブル船建造.

6日　・第7回日韓ケーブル会議　開催.
(木)　司会を務める．主要議題の協議をほぼ終了.
・GNTC駐日代表の交代に伴なう，KDD会長，社長招宴.(帝国ホテル)

7日　・TAS General Manager Mr.Gohの来日に伴なう，KDD/TAS会議に出席.(14:00～16:00)
(金)　1. 中近東へのケーブル延長.
2. ケーブル船の joint venture.

8日　・出社
(土)　TAS/KDD会談におけるケーブル船の協議の模様をまとめる.

9日　TAS Messrs. Goh, Sungの都内観光，相撲見物を能勢海協室長と共に案内.
(日)

10日　・Exar社製品の利用可能性の検討結果につき，東洋電具製作所 神田常務にTel.
(月)　1. KDD本社では，装置を購入するので，個々の電子機器を求めることは殆どない.
2. 研究所に，研究用機器としての利用可能性を検討してもらったが，現在直ちにお願いするものはなく，今後必要があれば，求めるよう心がけておく.
3. 片山氏に報告しようとしたが，選挙で多忙のようなので，神田氏より機会があれば伝えてほしい．―以上，神田氏 了承.

11日　・日韓ケーブル会議 最終日.(10:00～11:30).
(火)　・ミニッツ確認.
・光ケーブルの研究開発計画に関する審議のための総企会に出席.(14:00～16:30).
・韓国MOC代表に対する大島副社長招宴に出席.(般若苑).

12日　・「時の話題」セミナー，社長講演(京王プラザホテル，11:45～14:00).
(水)　・OLUHO調整委員会(第9回)の開催について，各小委代表が集り，笹本取締役の下で打合せ.(14:00～15:00).

・光通信用 長波長半導体レーザの開発成功の祝賀パーティ．(32Ｆ，シャンボール)
社長，関係役員，本社関係部門，研究所関係者，出席．

13日 ・海底線部打合せ．(10:00～11:45)．
(木) ・今後の作業について．
・WE Co.との特許契約の協議に関連し，NECよりWE Co.との契約の現状及びKDD/WE Co.会談に対するコメント要望をきく(13:00～15:00)
・NEC 村上取締役，山本技術管理部長代理，清水営業部長．
KDD 志村常ム，総企技計：小林(好)，湯本，研：あいば，竹口．
(・布設工法連絡会 欠席)．
・デンマーク郵政省より，ケーブル船，埋設機の知識を得たいとして，KDD訪問の希望のTLX．志村常ムあて来る．
・富士通 北村氏にデンマーク側の事情をきく．
・志村常ムと，これの対応つについて協議．

14日 ・猪股 技術課長に，デンマーク郵政省の希望について，次の調査を指示．
(金) 1．外部に対する技術紹介において，技術情報の取扱いについての社内のルールを技計部技術管理課にきくこと．
2．木下次長と協議し，いかなる情報を提供してよいかの整理．
・故 久野村欽也氏の追悼会，五十日祭．(11:20～14:00)熊野会館．
・海協室 笠野原氏とアルゼンチンへの技術協力訪問について打合せ．(15:00～16:30)
・ケーブル船の検討を進めるための，方針，及び関係部門との協議用資料の作成について，杉本，武田，増田君らと協議．(17:00～18:00)

15日 祝日．
(土)

17日～20日 部長研修．
(木) 富士教育研修所にて，経営管理に関する研修．

21日 ・部長会:第7回日韓ケーブル会議報告．
(金) ・MENANGケーブル海洋調査の中間報告作成のため，マレイシアへ出張し，帰着した木下次長から状況の報告．
・武田課長，猪股課長から，報告．
・技計小林次長，衛通調 福室副参事と，アルゼンチン出張の打合せ．

22日 ・出社
(土) ・部長会研修のリポート作成．

14日 祝日．(秋分の日)．
(月) ICPC東京会合に出席のCW. Mr. Pitt, Mr. Forestalと会食(住友ビル サミット)

25日 ・斎藤二郎氏 来訪:英文への技術資料のほん訳，及び電子機器の輸出入の伝手について依頼．
(火) ・志村常務に，部長研修の報告．
・アルゼンチン出張のための，資料準備：矢口君にスライドの作成を依頼．
・ICPC総会への出席代表に対するレセプション，(京王プラザホテル，43Fスターライト)．

26日 ・ICPC代表と昼食に出席．
(水) OTC(A), Mr. Flood, P. New Guinia Mr. Harrison. CW, HK. Mr. Chiangと同一テーブルで懇談．

27 日　・机の入れ替え.
(木)　・ITDC. Mr.Y.Y. Yang から Tel. ケーブル保護についての詳細情報を求められる.
　1. 水路部への OT ケーブル位置の通知
　2. ICPC.に加盟の是非, 義務, 規制, 会費, 加盟申込方法, など.
・ATT. Mr. McCullough と会食(志村常務招待に同席)一昼, 32F.
・足利大 出崎さんから Tel.：電機大卒業予定の令嬢の就職について依頼さる.
・ICPC 会合にて, BPO 提供のビデオテープ(ジェット埋設)をみる. (16:00～)
・Mr. Pitt(CW)と, OLU の問題について若干の討議.
・Mr.Pitt(CW)へ, 次回調整委までに, 次回 TSC については, 現在実施中のモデル実験の結果も見て, view を Mr. Bird, Mr. Histed に示すことを約す.
・GNTC, Messrs. Gehlshoj(技術長), Rasmussen(前駐日代表), Larsen(新, 駐日代表)に対する志村常務招宴に出席(赤坂, 茄子)

28 日　・台湾より別送品来着の報あり, インナネショナル・カーゴ・サービス(株)あて, パスポート, 別送申告書, 領収書を書留速達で送る.
(金)

29 日　・出社. アルゼンチン出張の準備.
(土)

10 月

1 日　・関係役員員懇談会(15:00～16:30)
(月)　苓北中継所近くに九州電力で発電所を建設する計画を有するため,その対応について審議.

2 日　・沖ー台ケーブル開通に関し, NEC, Fujitsu, OCC 共催のパーティが開かれる.
(火)　(18:30～, 京王プラザホテル).
　散会後, 石川保全部長, 高橋経理部長, 秋本理事らと懇談.

3 日　・台湾 DGT 金 副局長, 任 氏 来日. NASC にて表敬(16:00～16:30).
(火)　夜, NASC 社長招宴. (帝国ホテル, 北京飯店).

4 日　・海底線部打合せ. (10:00～12:00).
(木)　出張予定と不在中の処理を, 次課長に依頼.
・関係役員懇談会. (14:00～16:00).
　光海底ケーブルの開発に関し,今月来日する BTL 職員との会合への対処方針について審議.
・志村常務に, アルゼンチン ENTEL に対する海底ケーブル関係の説明方針について説明.

5 日　・衛星通信技術の研修に KDD を訪問中のアルゼンチン Balcarce 地球局技術者の Mr.Silva と会食. (海協室 笠原副参事 案内.)昼食, 京王プラザ, メダリオン.
(金)

6 日　・出社：アルゼンチン出張のための資料準ビ.
(土)

8 日　・会社の保健医による, 精密検診, 9:00～, 11:00.
(月)　海協室 三宅次長, 笠原副参事らと会食.
・アルゼンチン出張のあいさつ, 社長, 両副社長, 関係役員へ.

9 日　・朝, 出社し, アルゼンチンへ持参の資料を受けとる.
(火)　昼食, 木下次長, 海老沼, 高荷両嬢. 及び東話顧客のミスと京王プラザホテル樹林で.
・14:40 自宅発.
　18:45, 成田　発, PA200 で, アルゼンチン, ベノスアイレスに向う.
・以降, 10 月 22 日まで, ベノスアイレス 出張.

23日　・出社し，志村常務，大島副社長，児島常務に帰国のあいさつ.
(火)　志村常務より，KEC 図書 の英文化の件，及び副参事以上の定期管理表の作成について，指示あり
・海協室 能勢室長，笠原副参事と，懇談.

24日　・風邪のため，1日休む.
(水)

25日　・長計21号のための，要員計画について，海建本部内打合せ.
(木)　・NASC 増田社長に帰国あいさつ.
・板野社長，大島，鶴岡 両副社長 退任. 古池会長が社長に就任し，
臨時部長会にて，古池新社長よりあいさつ.
・夜，自宅に週刊新潮記者(大久保氏？)より，沖縄のケーブルの状況について問合せあり.

26日　・午後14:00～，副参事以上に対し，新旧両社長より挨拶あり.
(金)　・午前，10:00過ぎ，New York 事ム所 遠藤調査役宅に Tel，10月9日にベノスアレイスへ行く途中1泊した Barbizon Plaza Hotel の朝食代未払い請求5.73ドルを立替え支払して欲しい旨，依頼.

27日　休み.
(土)　社長室 栗田秘書役より Tel.
東京税関成田支所より，事情聴取のため29日に出頭の要請ありとのこと.

28日　・住友ビル楠樹記念病院にて，人間ドック.(1日).
終了後，会社へ寄る. 社長室にて，税関呼び出しについてきくが，何の問題か要領を得ず.
・3時より，臨時役員会が開かれるとのこと.

29日　・日交ハイヤーにて，成田へ. 検問は税関へ行く旨話し，通過
(月)　9:30指示通り，統括審理官垣任氏に Tel，(北ウィング4Fにて)3Fの出国管理カウンター前を通り過ぎ，会議室と名札のある室へ案内される.
そこで，平山大蔵事ム官より，昭和51.6.20～6.26 OLUHO IRU 販売会議に出席の際，同行の矢嶋昭氏(同時秘書役)が携行し，支出した渉外費について，とくに“品代”と記された一種の使途不明金についてきかれる.
全く関知せず，渉外費についても関与せぬ旨を答え，聴書をとられて，12:30解放される.
要点は，渉外費の性格，社用品購入に当てられたか否か，それが誰の指示によるか，にったようであるが，全く関知せぬため，何で呼ばれたのか不審である.

30日　・臨時部長会(14:00～16:30).
(火)　・社長室の廃止と，改組.
・広報室，経理部よりの連絡通知等.
・笹本取締役より，次回 OLOHO 調整委，TSC について，意見をきかれる.
・前日の成田税関に関する事情聴取の模様について，弁護士(蒲原(カモハラ)，安井，加藤の三氏)に説明，社長室 西本次長，林総ム課長らと主宰.(サンルート東京，4Fにて). 18:45～20:00.
・KEC 玉置常務理事らと，“国際海底ケーブル通信”の英語版作成について打合せ.

31日　・OLUHO TSC 会合への対応のため，OLU 区間のレベル変動対策の検討状況について関係部門と打合せ. 10:00～12:30. 保全，(海)建設.
(水)
・志村常務(10/23～10/30，サモア諸島に出張)に，報告.

1. 54年度上期定期管理表(副参事)を提出.
2. KECとの打合せ状況.(図書の英語版).
3. 成田税関の問題.

11月

1日(木)
・部 打合せ.(10:00～11:30) ,猪股,杉本,湯口:出張等で不参加.
臨時部長会の報告.
アルゼンチン出張の報告,など.

2日(金)
・OLUHO TSC(第10回)会合の議題案のCW,ETPIへTLX送付について.
笹本,志村両役員に報告.
・TSC会合で討議するOLUレベル変動対策について,社内で討議する会合の準備を江幡副参事に指示.

3日(土)
祝日.

5日(月)
・54年度 業務知識講座を直江津海底線中継所で実施のため,出張.
午後,14:30～17:00. 講演.

6日(火)
・直江津より帰着.

7日(水)
・臨時部長会(16:30～17:30).
・刷新対策委員会の設置についての通知.
・～上級管理者身上調査表を志村常務へ提出～.
・NEC 田畑氏 来訪:シンガポール－メダンケーブルのproposal案を持参.

8日(木)
・臨時部長会の模様を,猪股,武田 両課長に話す.
・OCC 斎藤取締役来訪.
・日海技報を持参.
・ATLANTIS Project(レシフェーダカール－ラゴス)について説明.

9日(金)
・部長会なし.
・石川保全部長と協議.
OLUHO,TSC,第10回会合の出席者について.
・光海底ケーブル研究開発に対するATT/BTLとの協調に関し,打合せ.(14:00～16:40)
総企,技計部,研究所.

10日(土)
・アルゼンチン出張における,海底ケーブル関係の打合会合報告を作成.

12日(月)
・総企会に出席を求められる.(14:00～16:00)
・長計21号における海底ケーブルプロジェクト案の審議.
・長期展望に立ったフィロソフィーを盛りこむように修正することとなり,その作業に協力を要請される.

13日(火)
・前記の計画作成に,海底線建設本部が協力することについて,役員会で了知され,大きな問題は海底線建設委員会で検討することも話題になった旨,松本(洋)取締からTel.あり.
同様に,志村常務からも,同趣意の話しあり.

14日　・OLUHO，TSC，第10回会合の対処方針打合せ．(13:30～16:00)．
(水)　　志村，笹本 両役員 出席，バシー海峡のレベル変動の改善策について．
　　夜，徳江，江幡両君と懇談．

15日　・海底線部打合会．(10:00～11:30)．
(木)　　経営刷新委員会の発足，長計作成に関する総企への協力，等の動向を周知．
　　・総合計画 川鍋部長より TEL．15:20～15:40．
　　長計21号における，ケーブルプロジェクト計画作成への協力要請あり．

16日　・海底線建設委員会の検討課題としての，“ケーブル建造の検討の進め方”について，考察．
(金)　・三井ビル，副都心クリニックにて，マニラ出張のため，コレラ予防注射(第1回)．

17日　出社．
(土)

19日　・KEC 発行「国際海底ケーブル通信」の英語版作成に関する打合せ．(14:00～)．
(月)　　編著者，(志村常務)，各編執筆責任者　並びにKEC側関係者 出席．
　　・OLUHOケーブル 第9回調整委員会の対処方針打合せ．(14:00～)
　　笹本議長，国際部，総計，経理，保全，海底線，回網の関係者 出席．
　　15:45分より出席．

20日　・臨時部長会．(15:00～16:00)．
(火)　　国際通信料金の値下げ，について．
　　・技術計画 池田部長にTel．
　　・志村常務に，海底線建設委員会の審議課題と進め方(運営方法)について説明．また，その審議課題の一つとする“ケーブル船の検討”のとり上げ方の案を説明．

21日　・BTL/KDD研 会合の結果に基づく，ATT Mr.Tuttle，Jr．へのレター案について 湯口調査役
(水)　　にコメント．
　　・武蔵野通研にて，技術講演会「超高信頼部品の研究」をきく．
　　講演会後，懇親会．早坂，小島(哲)氏らの先輩，各通研所長らと懇談．

22日　・三井ビル，副都心クリニックにて，コレラ第2回予防注射．(11:45)
(木)　・木下次長，猪股，武田 両課長と，打合せ．(15:40～16:30)．
　　当面の課題．1．長計21号作成における総企への協力．
　　2．海底線建設委員会の運営，方法の再検討．
　　3．国会議員からの質問，資料要求への対処．
　　次週以降，OLUHO，TSC(10)，Coord，Comm.(9)に出席のため，マニラ出張となるので，以上の件の推進方を指示．
　　・総合計画部 川鍋部長にTel．(17:50～)
　　・長計21号のケーブル関係計画作成について，案作成後，いかなる社内処理をするのか．
　　△役員要望事項をおり込んで作成したものを，中間報告として12/10(月)総企会，12/11(火)役員会へ出す，海建委で検討するとすれば，そのあとになる．
　　・海建委活動について，案を検討しているので，事ム局の一員として協議にのってほしい．
　　△．長計で多忙なので，どれだけできるか分らないが，了解．

23日　祝日
(金)

24日　・佼成病院，皮膚科．
(土)　・出社，10：40～．

・OLUHO, TSC 会合出席準備.

26 日　・OLUHO, TSC 第 10 回会合, Coord, Comm. 第 9 回会合 出席のため, マニラ出張.
(月)　12 月 5 日まで.

28 日(火)～30 日(金)
TSC. 第 10 回会合.
議長をつとめる.

12 月

3 日(月)～4 日(火)
調整委員会　第 9 回　会合.
TSC Convenor Report を提出.

5 日　帰着.
(水)

6 日　・出社, 志村常務に帰着あいさつ.
(木)　・健康診断.
・木下次長, 武田, 猪股両課長から出張中の処理事項, 懸案事項について報告を受ける.

7 日　・部長会.
(金)　・OCC 斎藤氏 来訪.
OLU 区間に用いる torsionless double armoured cable の今後の検討について, 経費をどうみるか, ケーブル cost に入れる方法もあろうが, OLU の修理用だけにわりかけるのは問題であろう. (K)
スケジュール的には, 80 年 3 月迄検討し, 仕様を固め, それから製造すれば, 明年末までかかる. (O).
発注契約を KDD と直接したい. (O).　NEC を Main とする従来の方法が, 既契約(ETPI/NEC 間)を踏まえることになり, 好ましいのではないか. (K).
・伝送同門会忘年会. (京橋会館)
・ITU 協会 天野氏より Tel.
明年 1 月の講演について.
議題, 東南アジア地域を中心とした電気通信網.
日取り, 1 月 20 日過ぎ, 1/21～1/24 が好ましい旨述べる.

8 日　・出社.
(土)　・志村常務に, 海底線建設委員会の改組, 運営案の作成状況を報告.

10 日　・総企会に出席. (9:30～11:30, 14:00～14:30).
(月)　長計 21 号, 海底ケーブルプロジェクト計画案の審議.
・KCS 招待による昼食.
・総務部に, 所掌, 権限事項に関するコメントを送付.

11 日　・国際部国際機関課に, ITU 協会プラン委員会研究会における講演について問い合せ.
(火)　・NASC 増田社長に, マニラより帰国のあいさつ.
・OLUHO, TSC, Coord Comm. で討議された, OLU ケーブルのレベル変動対策について, 関係部門(技　計, 資材, 海建, 網管, KCS)に会議状況の報告, 打合会を主宰. (14:00～16:00)

12 日　・KCS 発刊の国際海底ケーブル通信の英語版作成の打合せ. (14:00～15:30)
(水)　KEC, KDD 側執筆責任者.

・海底線部忘年会.

13日（木）
・部打合会.（10:00～11:30）
・OLUHO調整委マニラ会合の報告，レベル変動対策案の審議に関する役員会資料を江幡君と協議作成.

14日（金）
・部長会(10:00～11:30)

15日（土）
・出社.
・午後，石川保全部長と，徳江施設課長を東京逓信病院(五反田)に見舞う.

16日（月）
・KEC 図書 「国際海底ケーブル通信」の英文へのほん訳について，矢口，湯口両君に依頼の協議.
・NEC 田畑，Fujitsy 関川，OCC 斎藤の各氏と，ケーブル計画の現状と動向，技術的問題等について，雑談会をもつ.（16:00～18:00).

18日（火）
・役員会：OLUHO調整委 第9回会合(マニラ，12.3～4)の報告と懸案事項の審議.
終了後：江幡君に次回臨時調整委員会の技術方針案作成を指示.
・志村常務より，「海底線委員会」の運営方法について，小委員会を置き，付託事項を設けて進める案を呈示される．総企室とも協議検討することとする.

19日（水）
・KEC図書の英文化のためのほん訳を，京極，高井，布川君らに依頼.

20日（木）
・郵政 電監室 米沢参事官より，沖ー台ケーブルの工事終了時期等につき問い合せ.
・ATTとの技術会合の対処方針案を検討．これを審議のため，関係役員懇を開催することとなり，その開催のarrangeを，湯口調査役に指示.

21日（金）
・ATTとの技術会合に関する関係役員懇の資料作成について湯口君と協議.
・NASC 取締役会.（16:00～17:00).
・NASC全員の懇親.（サンルート，ホテル，いわ園).

22日（土）
休

24日（月）
・人事異動発令.
(海)建設部長，鈴木氏から，織間氏へ.
鈴木氏は機器施設部長に転出.
・海底線委員会を発足させるに当っての，所掌について案を志村常務に説明.
・ATT　Mr.Tuttleより，ケーブル船の検討に関する志村常務あてレター来着.

25日（火）
・光ケーブル研究開発の相互協力，TPC-3の技術問題，ケーブル船等についてATTと協議するための，会合への対処方針について関係役員懇談会で討議.（14:00～15:00)
長計21号審議のための役員会が，午前に引き続き，午後15:00より開かれるため，その合間を縫って開いたが，討議未了となる.

26日（水）
・昨日の関係役員懇の続開を要望され，1月8日(火)午後にこれを開き，役員会付議は1月10日(木)とする.
・臨時局所長会議：14:00～17:00．今般不祥事を中心として.
・引続き，17:30より懇親会.

・午後，佼成病院，皮膚科に立寄り.

27 日
(火)

・日韓ケーブルの修正スケジュールと，訓練計画について，労組へ説明.（10:00～10:30).
・三信工業 榑松氏来訪(13:30～14:30).
バシー海峡における OLU ケーブルの修理に当り，カーボランダム入りのプラスチゾル塗装外装鉄線の使用の可能性を問われる.
・効果は，耐摩耗性において，従来の 10 倍.
・価格は，殆ど変らない.
・使用に当っては，NTT 技術局長に了解をとった方がよいが，NTT としても広く使用されることを望んでいるので問題はなかろう.
・OCC に要求すれば，OCC から三信工業に話しが行く.
OLU ケーブルの問題解決に当っては，安全係数を高くとる方針なので，一重外装ケーブルの外装鉄線被覆に用いることは考えられる．その方向で検討したい，と回答.
・国際部 新井課長より Tel.
次回の臨時調整委会合出席者を至急決めたいので(CW Hong Kong Mr. Chan より要望あり)，笹本取締役に伺ったところ，とりあえず，OPS/FIN 関係 4 名，Tech 関係 4 名として，合計 9 名のホテルリザーブを頼むよう返電することになった，との事.
明日，保全部長，建設部長とも協議することとする.

28 日
(金)

・部長会(10:00～12:00).
・長計 21 号の概要紹介.
・組織，権限，所掌等に関する部・室長へのアンケートに対する回答が要約されて紹介される.
・ATT との技術会合に対する応待について，志村常務に状況を報告.
・NASC 社長以下役員で，KDD 古池会長兼社長にあいさつ.
・NASC にて，年末のあいさつ.

1980 年(昭和 55 年)

1月

4 日　・仕事始め.
(金)　・KDD, 関連会社役員間の賀詞交換会に, NASC 役員として出席.

5 日　・出社.
(土)　・ATT との技術会合の対処方針案を検討.

7 日　・ATT との海底線関係技術会合の対処方針案について 総企会で検討. (14:00～16:00)
(月)　・Mr.&.Mrs.C.C. Duncan に対する懇親パーティに出席.
(ホテルオークラ, 10F, 暁の間, 17:30～19:00)

8 日　・ATT との技術会合の対処方針案について, 関係役員懇の続会(14:00～16:00).
(火)　会合の司会, 出席者　木村, 志村, 笹本, 松本の各役員
総企, 海建, 保全, 国際, 研究所, 各部関係者.
審議の結果, 会合の性格を明確にして提案することとなり, 対応方針案を早急に改定することとなる.
関係者と, 帰途　懇談, 会食.
・サンパウロ 石谷所長から Tel. (10:30.)
ATLANTIS ケーブルに関する EMBRATEL から KDD への要望事項について, 内容了解. TLEX を本社へ至急送るよう要請.
本件, 直ちに, 海協室, 志村常務, 建設部へ伝達.

9 日　・KEC 発行 「国際海底ケーブル通信」の英語版作成打合せ. (14:00～17:00).
(水)　・海底線部, 主任以上の幹部 新年会(新宿会館, 18:30～21:00).

10 日　・役員会に, 海底ケーブルに関する ATT との技術打合会合の対処方針案を上呈. 技術計画部
(木)　長とともに説明, 了承さる.
・国際通信レビュー誌への原稿作成.

11 日　・部長会なし.
(金)　・対 ATT 技術会合の資料準備, ならびに会合の arrange.
・東北大 和田正信教授 死去の報.
・国際通信レビュー誌への原稿, KEC 担当者(大野君)へ渡す.

12 日　・出社.
(土)　ITU 協会依頼の講演原稿の作成を進める.

13 日　海底ケーブル技術会合・ATT 代表(Tuttle, Barrett, Meierdiercks 各氏)との会食に出席.
(日)　(京王プラザホテル, 44F , アンブロシア)会議についての事前打合せ.

14 日　・ATT との海底ケーブル技術会合, 9:30～
(月)　午前：TPC-3, 午後：TPC-3　cable route, cable ship.
・臨時部長会：木下次長が代理出席.
夜, KDD 側招宴　京王プラザホテル, 42F, 津久井.

15 日　成人の日.
(火)　大相撲に案内. KCS 木村社長ら同行.

16 日　ATT との技術会合. (2 日目).

(水)　・光海底ケーブルの技術協力 関係.
・今後の会合のあり方，―Steering Committee を設定.
・夜，Minutes のまとめ，深夜までかかる.

17 日
(木)　・ATT との技術会合(3 日目).
午後 14:00～16:00，ミニッツ確認.
Mr. Tuttle，Mr. Meierdiercks 両氏，21:00 発 PAM で離日.
木下次長　成田へ見送り.

18 日
(金)　・部長会なし
・ATT との技術会合の役員会報告：1 月 24 日(木)を目標とする.
・Cable 船の検討のための working group の point of contact について，協議の末，保全部長(石川君)を KDD 側の POC.とすることとする.
・OLUHO 調整委 臨時会合への対処方針，出席者等について，部内で協議.
・新・旧，(海)建設部長の歓送迎会.

19 日
(土)　・休み

21 日
(月)　・村上(一)氏(元東光役員)来訪. Viking 社の水中コネクタの話.
・ATT との技術会合の役員会報告の作成，湯口，武田君に内容指示.

22 日
(火)　・新電元　熊谷伝六氏 来訪.
・バシー海峡の水理モデル実験の報告会.（東大海洋研寺本教授，東京水産大金成助教授）
15:30～17:30.
・日中ケーブルに障害発生.
・志村常務と，寺本，金成先生との会食に同席. 32F，シャンボール

23 日
(水)　・ITU 協会，プラン研究会委員会(第 57 回)にて講演. 14:00～16:30.
郵政省　5F 会議室.

24 日
(木)　・海底ケーブルに関する ATT との会議会合の報告を役員会で行なう予定が，突然審議中止で延期となる：山口課長(経営分析担当)急死のため.
・海底線委員会の第 1 回会合の開催について.
1 月末/2 月始めより，55 年度事業計画の郵政への説明が始まるので，総企室が殆ど不在.
総企室は，2 月中旬以降を希望. よって，2 月中旬(2/13～2/15)に開催することを目標とし，それ迄に，委員会の運営方法について関係部門と協議し，案を固め，会合での審議を容易にしておく.
その他，緊急問題，(光海底ケーブルの第 1 期開発計画，第 2 COMPAC への投資，沖－本の推進，ケーブル船の検討 etc.)をできれば審議する.
以上，一(海)業務課長，総計部長と個別話し合い，志村常務の了解を得る.
・OCC 斎藤氏 来訪.（16:00～16:45).
1. 埋設関連技術について，KDD の専門家から解説をしてほしい：了承す.
場所：OCC 本社，2～3 時頃.（以前システムについて同様の依頼あり，徳江氏に電気布を中心に話してもらった）
時期：追って相談.
2. OLUHO の修理用ケーブルに，SIC を用いる件. 大阪工場で，外装巻取りをするので，見にこないか，NTT への納入品.
なお，関連資料を KDD へ提供する.
3. HAW-4 の推渉：ATT との会合における情報を与える.
・55 年度設備計画の労組への説明. 17:15～17:30. 海建本部関係を説明.

25 日　・部長会(10:00～12:00)
(金)　・常務，担当室部長連絡会議．13:10～14:00.
今後，毎週火曜 午後 13:30～，常務の室で開く．
都合の悪い時の連絡，海底線部長へ．
・NASC 今井課長，台湾 ITDC，ITA，DGT．等を社長に同行訪問した状況の報告．
・ケーブル船利用については，KDD/NASC 間の協定を台湾に送り，台湾内部の了承をとりつけてもらう．
・TAI-LU ケーブルは，布設が終り，commissioning 中，2 月中には完成．
・増田社長に黄 ITA 局長から台湾でのケーブル船建造に協力してほしい旨の希望があった．台湾では，高雄の造船工場で造りたい意向とのこと．
・OLUHO 臨時調整委出席のための Hong Kong 行きフライトについて，JTB と打合せ．

26 日　・OLUHO 臨時調整委会合の準備の検討．
(土)　・志村常務に報告
・NASC よりの台湾情報．
・OLUHO 臨時調整委への対処策の状況．

27 日　・経調室 山口課長の葬儀に参列．(練馬，信行寺，12:00～13:00)
(日)

28 日　・OCC 斎藤氏より Tel.
(月)　埋設関連技術についての話し，宮川社長もききたい，2 月 14 日 or 21 日午後を希望．
建設部織間部長とも協議し，木下次長を派遣することとし，OCC に回答．
・光海底ケーブル開発相互協力に関する ATT との協議で，ガイドラインについて合意した際，これが郵政省の許認可事項になるか否かについて，国際部 高松部長，沢木次長にきく．
公衆電気通信法，有線電気通信法等に直接係わるものでなく，業務的な関係も薄いので，許認可の対象とはなるまい．日中・日韓ケーブルの技術情報協定，海外への技術協定覚え書きも，許認可を要してない(沢木)．
事ム当局へも，情報として，連絡する必要はあろう．(高松)報告も義務づけられてはいない．
・江幡，北村両君と，OLUHO 調整委，香港会合の準備について打合せ．(14:00～15:30)
事前に OLU 布設替ルートの調査をする必要があるか否か．

29 日　・役員会に，ATT との海底ケーブルに関する技術会合の報告．
(火)　・昼，ATT との会合ミニッツ作成に携った，業務課，技術課の関係者を慰労．
・常務・担当室部長 間，連絡打合会．(13:30～14:45)．
・毎週火曜日に定例で開くこととする．
・経営刷新委関連，で，機材調達に関し「契約予備行為の禁止」を規定に沿って再認識することが確認された．
・OCC 斎藤氏 来訪．
・最近の銅の値上り，電力の値上り傾向で，ケーブル価格がかなり上りそうとの話し．

30 日　・海底ケーブル委員会の運営について，志村常務と協議．(9:30～10:20)．業務課長同席．
(水)　・OLUHO 臨時調整委における回線再割当問題の協議方針に関する打合せ．
国際部 主催．(10:00～12:30)．笹本取締役，経理部，総合計画，etc.
・KEC 図書 (国際海底ケーブル通信)の英文版作成打合せ．(KEC．)13:30～16:00.
・OLU 区間レベル低下，進行．

31 日　・次・課長と，当面の課題について打合せ．(9:30～:10:20)
(木)　・“契約予備行為”の禁止について．

・ATT との会合の follow-up： TPC-3，ケーブル船，光海底ケーブル等.
・海底ケーブル委員会の運営(案)の検討と，2 月中旬開催の準備.
・OLU レベル低下の進行に伴う，対策について，石川保全部長とともに，笹本取締役に現状説明ならびに，日中ケーブル修理との関連(KDD 丸の使用)の意見交換を行う.
(12:10～13:00).
・日中ケーブルの障害修理に関する打合せ.
保全部 主催. 13:30～16:00.

2 月

1 日
(金)
・部長会.
海底ケーブルに関する ATT との技術会合の報告.
・志村常務に，OLUHO 調整委ホンコン会合の技術事項として，レベル低下の進行に伴なう緊急修理と，恒久策との関連問題があることを説明.（保全部長，建設部次長 同席.）.
今迄，合意されている線に沿うことを原則とし，かつ全体のコスト，効果を最善にするよう努力することとなる.
・以上笹本取締にも報告.

2 日
(土)
・出社.
香港における，OLUHO 調整委会合の準備.

3 日
(日)
・OLUHO. 調整委 第 10 回会合 出席のため，香港出張.
成田 発 11:15.

4 日
(月)
調整委会合 開会.
技術関係“B”作業部会 会合を chair.

5，6 日 〃

7 日
(木)
調整委会合にて，“B”作業部会 報告.

8 日
(金)
調整委. 議事記録 確認.

9 日
(土)
帰国

12 日
(火)
・志村常務に 出張報告.
・常務・室部長，連絡打合せ会 13:30～15:00.

13 日
(水)
・OCC 斎藤氏 来訪.
・トーションレス ケーブルの検討について.
・プロポーザルを出してもらうことを考えている旨を示唆.
・日中ケーブル修理に関する，KDD/SPT 上海会合の報告. 打合(保全部主催).
・OLUHO 調整委(ホンコン)会合の状況を簡単に報告.
・OTC(A)総裁 Mr. Schmidt 他 OTC(A)メンバーに対する社長招宴に出席
ホテル，ニューオータニ，18:30～20:30.

14 日
(木)
・部 打合せ会(10:00～11:00).
・ITU 協会より依頼の“東南ア地域の海底ケーブルの発展”の原稿を仕上げ，郵送.
・海底ケーブル委員会の運営のし方について，検討.

15日　・部長会(10：00～12：00).
(金)　・部長会における緊急事項を，次課長に伝達.
・新技術開発委員会(13:30～15:30).
・NEC 田畑氏 来訪. (16:30～17:45).
1. アトランティス ケーブルブラジル・セネガル区間　―　応札の件.
何れ，NEC 社より，KDD あて，CS-12M 使用につき正式文書を出すとのこと.
2. I-S(ASEAN)ケーブル布設中に，F 社製中継器 1 台の動作変調(歪折返し，20db 悪化)のため，spare と替えた．その後，動作は正常，原因はシンギングを起したのではないかと思われる，(F 社は否定)．これを持ち帰り，精密検査をすることとなった．(μβの測定など)，N 社はその Test に立会えないので，中立の KDD に立会ってもらえるか.
＊なお，NF 間でこの件につき協議中⇒.
・私見：メーカー間のトラブルに巻き込まれるのは好ましくないが，
① インドネシア・シンガポール両国の日本技術に対する信用維持する面からも.
② 2CS-5M 開発を主導した立場からも.
③ 技術的関心，(この種，障害に対する現象，対策，等)からも，
N の要望を，F も了承すれば，認めてもよいかと思われるが，ただし，
i)シンガポール，or インドネシアからの要請をもらうこと.
ii)結果について，N も F も尊重すること.
3. NTT 茨城－三浦間 36M ケーブル，再び 障害. レベル down.
4. リビアケーブル CS-36M，ケーブル切断障害，C.S.Venture が TAILU の布設終了後，地中海付近でケーブル障害修理に従事し，それを終わったばかりで，リビアケーブルの修理を引受けてもらった.
ケーブル切断時，サージのため，中継機 1 台 被害をうけ，とり替え.
(CS-36M 海底中継器はサージに弱いとのこと．日韓ケーブル用は，それを改善してある筈，とのこと．)
5. NTT 通研は，光海底ケーブルの開発スケジュールも勘案して，140M 海底同軸の研究開発は，1000KM の中継ができることを確認して打切る，と云っている.

16日　・出社.
(土)　資料整理.

18日　・NASC 取締会. 14:00～.
(月)　株式総会の開催について決議.
・NASC 増田社長の歓送:北京大飯店. 18:00～20:15.

19日　・常務，室・部長間，定例連絡打合会　13:30～15:00.
(火)　・NEC 田畑氏に，ASEAN・S-I ケーブルの異常中継器の検査立会について確認したところ，シンガポール･インドネシア側の要望でなく，N・F 間の責任の所在に関し KDD の判定を求めたいとする NEC の要望であるとのことなので，そのような状況では，介入は困難の旨を伝え，田畑氏 了解.

20日　・臨時株式総会. 9:30～11:15.
(水)　現状に至った責任の追及，株主に対する損害の補償等できびしい質問があったようであるが，議事については了承され，新たな役人が選任され，続く，臨時取締役会で会長，社長に，日高氏，増田氏が就任された.
・村上(一)氏より Tel.
・去る 1 月 21 日に照会のあった，Viking 社の水中コネクタについて，詳細説明をしたい.
・KCS の二瓶工事課長に問い合わせ，日中ケーブルの修理後，話しをきくこととし，村上氏には，3 月中旬以降，村上氏側の担当者から KCS の二瓶工事課長に連絡されたい旨，伝える.

・NASC 臨時株式総会(NASC 会議室にて)
取締役の退任と，その後の選任について.
増田社長が退任し，木村 KCS 社長を選任.
・引続き，NASC 取締役会が開かれ，木村氏社長に就任.
・新会長，社長，元会長から，管理者へのあいさつ.(17:30～18:00)32F にて.

21 日
(木)
・臨時部長会(10:00～12:10).
・KDD 経営諮問委員会(仮称)の設置について，意見交換.
・交際費を特定経費として，計画に計上する件について，経理部より各部庶務担当課長に説明打合せ.(加瀬君出席).
・NASC 谷野君より，仕事がない悩みの訴え.

22 日
(金)
・志村常務に
1. 新会長，社長への所掌業務の説明に関し，海建本部として一括する方向で資料作成する件.
2. 海底ケーブル委員会の運営について，関係役員部長懇談会を開いて，討議する件.
を協議し，了承を得る.
・NASC 谷野君に，沖ー台ケーブル建設時の，工数の算定を依頼.
沖ー台ケーブル建設工事記録に refer するため.

23 日
(土)
・佼成病院，皮膚科に寄った後，出社.
・海底ケーブル委員会の運営について，考える.

25 日
(月)
・日韓ケーブル技術作業部会　始まる.29 日までの予定.
木下次長，猪股技術課長，矢口技術課長補佐に出席してもらう.
・武田業務課長：課長研修を終え，その報告.
海底線委員会の運営についての関係役員懇談会(2 月 29 日予定)に対する資料の準備を指示.
・夜，自宅に，志村常務より Tel：組織の見直しに対する意見を求めらる.

26 日
(火)
・定例の役員，室部長間連絡打合会は，常務外出のため，とり止め.
・武田業務部長と，海底ケーブル委員会の運営に関する関係役員懇親会の資料について討議.
・役員会付議基準の改正資料，文書課より送付さる.

27 日
(水)
・光海底ケーブルの試作が研究所からの発注で OCC で行われており，銅のチュービング工程に入った状況を視察のため，志村常務に同行し，新山下工場へ行く.
・日韓ケーブル作業部会会合韓国側出席者に対する志村常務招宴.(南園).

28 日
(木)
・OLUHO 調整委会合(ホンコン，2 月 4～8 日)報告を役員会に行う予定が，審議案件多く，次回へ廻される.

29 日
(金)
・部長会.
・「海底ケーブル委員会の運営」について，の関係役員懇談会を開催.(14:00～16:00).
・日韓ケーブル作業部会(技術，契約/財務)終了

3 月

1 日
(土)
週休.

3 日
・織間建設部長，木下次長と，会長，社長への所管事項説明用資料の作成について打合せ.

(月)　(13:30～15:00).
・海底ケーブル委員会の運営について.
志村常務より，高仲取締へ，計画小委員会の小委員長の就任を要請.
担務事項については，副委員長(総計部長，海底線部長)，間で協議後，案を小委員長のところで検討することとする.(夕刻，川鍋部長と電話で協議).
・高仲氏より，沖－本ケーブル問題を，TPC-3 ルートを沖縄経由－本州をすることで，解決できないかとの提案あり，様々の案を，計画小委で検討することとする.

4 日
(火)
・役員会に，OLUHU 調整委・第 10 回会合の報告:了承.
・技術課長，業務課長と，海底ケーブル委，小委事務局の件，及び，日韓ケーブル会議の会合計画について協議.
・日韓ケーブル用，給電装置，試験装置(PIL MON, SV MEASURE)OW 装置の試験状況を，NEC 玉川工場で視察(志村常務，織間部長共)
・明 5 日 衆院逓信委における郵政省答弁に対する援助のため，待機.

5 日
(水)
・KEC 図書 “国際海底ケーブル通信”の英語版作成打合せ.(14:00～16:00)
・保全部長と，海底ケーブル委　―ケーブル船小委の担務事項について，協議.
又，建設部長と，同委　―技術小委の担務及び活動のし方について協議.
・NASC 築取締より，KDD 監理課 松村課長より，KDD における監査強化に伴ない，関連会社に対しても，考査室等による査察(株主として)を行うことを検討している旨連絡があった，旨，話しあり.
・日中ケーブル Repair No.2 のため，KDD 丸長崎港出港.

6 日
(木)
・海底線部打合せ.(10:00～12:00).
・建設部長，両部次長と，海建本部所管事項についての会長への説明資料作成打合せ(14:00～16:00)
・海底ケーブル委，ケーブルシップ小委の担務事項案について，石川保全部長と協議.

7 日
(金)
・部長会.(10:00～11:20).
・高松総務部長と，NK 合同委，首席委員の件など協議.
・志村常務，担務室部長間連絡打合せ：(14:00～15:30).
・会長への所管事項の説明資料について，協議.
・日韓ケーブル作業部会会合のミニッツ英文作成に尽力してくれた，下北さんを慰労.(京王プラザ・ホテル，福ぎく).

8 日
(土)
・出社.

10 日
(月)
・常務会(？)が緊急に開かれたため，予定した海底ケーブル委員会会合の開催は延期.
・保全部長と共に，笹本取締に，海底ケーブル委，ケーブル船小委員会の担務案について説明，了解を得る.
・会長への所管事項の説明(12 日，2 時～3 時)について，常務，担当室部長間で打合せ.(17:15～18:50).

11 日
(火)
・会長への所管事項の説明資料の準備について，建設部長と協議.
・常務，室部長，定例 連絡打合せ(13:30～15:00)
・延期になった海底ケーブル委員会を 14 日(金)午後に開くこととなる.
宮，児島両常務のほか OK.

12 日
(水)
・冲台ケーブルの技術資料作成に伴ない，作業工数について検討.
・予定されていた会長への所管事項の説明(志村常務 担当部室)は，昨日からの他部門の説

明が予定通り運ばず，遅れを生じたため，延期となる.
・日中ケーブル Repair No.2.，探線に成功したとのこと.

13 日 ・特記事項なし.
(木) ・日中ケーブル Repair No.2.，修理を本日中に完了する見込みとのこと.

14 日 ・部長会(10:00～11:30).
(金) 総務部長より，役員会資料の形式を改める点が通知される.
・職員部 近藤次長に，NASC 技術職員(施設課補佐)を，KDD の作業多忙時に応援派遣する方法について検討を依頼.
・海底ケーブル委員会(14:30～16:00).
・今後の運営について，審議.

15 日 休み.
(土)

17 日 ・総企会(第 2 COMPAC への投資問題)の審議に参加. (10:30～11:30).
(月)

18 日 ・部打合せ. (10:00～12:00).
(火) ・ケーブル船，TPC-3 に関する作業の進め方，を討議.
・連絡打合会(常務，室部長間). (14:00～15:30)
・会長への所管事項の説明の件 など.
・郵政関係者，西本次長ら 逮捕.
・江幡，湯口君を石川部長と慰労. (ギルド).

19 日 ・OCC 斎藤氏 来訪，光海底ケーブルの将来の開発動向について，宮川社長が KDD 海底線関
(水) 係者(志村常務，海建本部，両幹部)と意見交換の懇談を希望しているとのこと.
3 月 24 日(月)16:00～ KDD ビルにて行うこととする.
・NASC 第 19 回 取締役. (11:00～11:25).
・KEC 図書 ，“国際海底ケーブル通信”の英語版作成打合せ. (14:00～16:00).
・職員部関係人事異動 内令. 鈴木(雄二)君 技術課主任へ，京極君 施設課主任へ.
・木下次長より，女子社員の配属について.

20 日 祝日(春分の日).
(木)

21 日 ・部長会. (10:00～11:30).
(金) ・会長への所管事項の説明. (14:40～15:35).
志村常務 担当 室部(海外協力室，海底線建設本部，資材部).
・OCC 斎藤氏. 光海底ケーブルに関する懇談打合せ会について協議のため来訪.
・NASC 新旧社長(木村，増田 両氏)に対する NASC 役員の歓送迎会(北京飯店).
・増田社長より：本社の組織，機構をスマートにしたい.
：役員は，一同連帯責任をもつべきであるので，経営の共通事項に関しては(ex. 組織，人事，料金，その他)，所管であると否とを問わず，何らかの意見を述べることができなくてはいけない，とくに会長は，この意向を強く持っている.

22 日 ・出社
(土) 雨から雪になる.

24日（月）
・浜田中継所における日韓ケーブル建設後の保守体制を廻って，組合に対し会社側の考えを保全部長より説明．(10:40～11:20)．
・人事 発令：畠山調査役 海底線部へ京極君 建設部施設課主任へ．
鈴木雄二君 技術課主任へ昇格．
・ケーブル船に関する打合せ(13:30～15:40)
保全部長，保二 課長，海 技術・業務課長， 江幡役．
・ATTとの作業部会会合への対処等．
・OCC 宮川社長 ほか(廻，畑，斎脇各氏)，来訪．
光海底ケーブルの今後の研究開発動向と，それに伴なうケーブル製造態勢について意見交換(16:00～17:45)．
KDD側，志村常務，建設部，織間部長，森田次長，海底線部長，湯口調査役．

25日（火）
・常務，室部長，定例連絡打合会(14:00～15:00)．
・3/24の人事異動，及び　組合との協議(浜田中継所の保守態勢)について報告．
・ケーブル船小委員会へ向けての作業方針について，技術，業務両課長及び江幡副参事に指示．(ATTとの会合，作業スケジュール　等)．
・KCS 二瓶工事課長より．
去る2月20日に話し合った，Viking社水中コネクタについて，村上(一)氏と打合せをもった，研究所，技術開発坂口課長補佐にも同席，してもらい，埋設機，光海底ケーブル用機器などに，今後の要求があるかどうか調べて，もしあれば，再度打合せることにした，旨，報告あり．

26日（水）
・志村常務 TAILUケーブル開通式出席のため，マニラへ出張．(29日まで)
・沖縄－台湾ケーブルの技術資料の執筆に着手
・日中ケーブル障害修理(No.2)の関係者の慰労宴．(18:00～，32F)．
(笹本取締役　主催)．

27日（木）
・ケーブル船小委員会へ向けての資料作成打合せ．(猪股，武田，江幡)．
・ITU協会 田中一三氏来訪．
“国際電気通信連合と日本”誌への投稿が掲載されたので，原稿料を持参．

28日（金）
・部長会　中止．
・ケーブル船小委員会(4月2日開催予定)の資料と，会合の進め方に対する考えを，笹本取締役に説明(石川保全部長 同行)．13:30～14:30．
おおよその了解を得る．同取締役は，明日(3月29日)より約10日間米国へ出張するので，その間，志村常務の下で，ケーブル船小委員会会合を開催することとする．

31日（月）
・ATT　Mr. Pappert が TAILUケーブル開通式に出席後，台北から東京へ廻り，KDDを来訪，FCCとの接衝状況等を説明のため，国際部で打合会合を主催．(11:00～12:30)．
大西洋，カリブ海におけるFCCの裁定状況との開連で，太平洋も考える必要があるか，FCCに対する意見交換を米国以外の関係Carrireからも出すため，FCCとの会合をもつことについてATTが望んでいる旨が説明された．
・KCS主催．東西マレーシアケーブル布設工事に対し，NECから感謝状がKCSに贈られたことを機とした，祝賀パーティに参加．(新宿会館)．
・NASC今井君より，木村社長に随行し，台北におけるTAILUケーブル開通式に参列した際の関連情報の報告あり．
(1) OKITAIケーブルの保守会議の第1回会合の開催地について，Mr. Y.Y. Yangが台北を希望している．時期については，NASC提案に委せる，とのこと(保全部 主管)
(2) OKI-TAI-LU間のケーブル経由restoration circuitの設定計画について，KDDが近く関係者間会合を開きたいが，その開催場所を台湾にしたらどうかとの意向を示したところ，台湾側は了承したとのこと(国際部 主管)